NTT docomo

F-02F

ARROWS Tab

取扱説明書　’14.11

はじめに

「F-02F」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末に搭載）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉ホーム画面で→［取扱説明書］
初回起動時は、eトリセツアプリケーション使用許諾契約書をご確認の上、同意いただく必要があります。画面の指示に従って「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

「取扱説明書」アプリを削除した場合には、PlayストアでGoogle Playのサイトにアクセスして再度インストールすることができます。
〈操作手順〉ホーム画面で［Playストア］→「取扱説明書」を検索して「取扱説明書」アプリを選択→［インストール］

「取扱説明書」（PDFファイル）

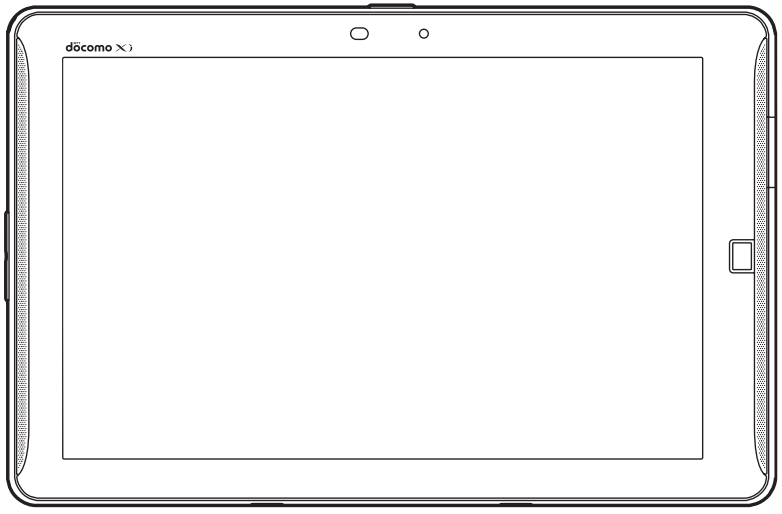
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

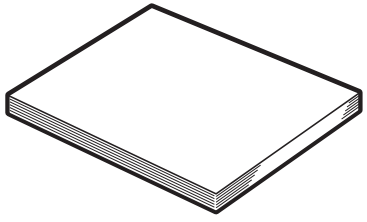
- 本書においては、「F-02F」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は、ホームアプリが「docomo LIVE UX」で、ファミリー利用設定が「標準モード」の場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

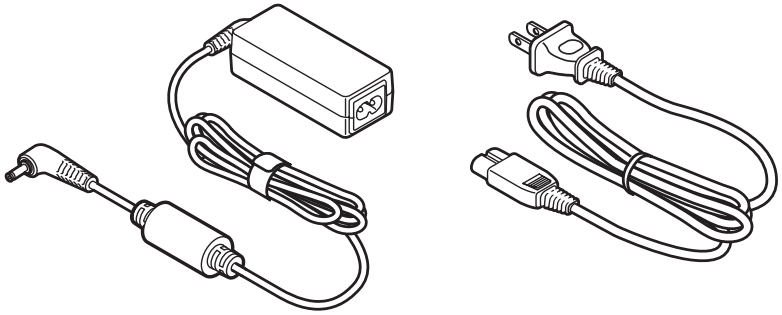
■F-02F本体（保証書付き）



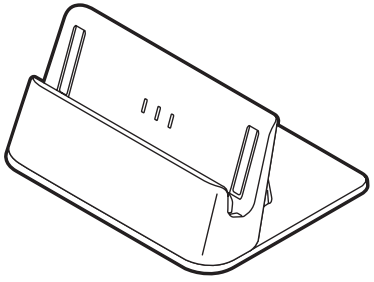
■クイックスタートガイド



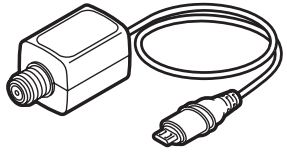
■ACアダプタ F07（保証書付き）



■卓上ホルダ F43



■USB同軸変換ケーブル F01



□その他のオプション品→P157

目　次

■本体付属品 1
■本端末のご利用について 5
■安全上のご注意（必ずお守りください） 6
■取り扱い上のご注意 15
■防水／防塵性能 21

ご使用前の確認と設定 27
各部の名称と機能 27
ドコモminiUIMカード 28
充電 30
電源を入れる／切る 33
基本操作 33
文字入力 35
初期設定 40
お知らせLED 41
画面表示／アイコン 41
タスク管理 46
ホームアプリの切り替えかた 46
タッチブロックモード 46

docomo LIVE UX 47
ホーム画面 47
アプリ一覧画面 49
マイマガジン 53

電話帳 54
電話帳の使いかた 54

メール／ウェブブラウザ 57
ドコモメール 57
SMS 57
Eメール 59
Gmail 62
緊急速報「エリアメール」 62
ブラウザ 64
かんたんインターネット 67

アプリ 70
dメニュー 70
dマーケット 70
Playストア 70
トルカ 72
モバキャス 72
テレビ（フルセグ／ワンセグ） 77
カメラ 85
ギャラリー 90
メディアプレイヤー 91
GPS／ナビ 92
時計 94
予定表 95

電卓 96
電子辞書 96
検索 97
ドコモバックアップ 98

本体設定 101

設定メニュー 101
無線とネットワーク 105
音・バイブ 112
ディスプレイ 115
スタイル設定 118
マルチメディア 119
ストレージ 121
電池 121
NX!エコ 122
アプリケーション 122
ドコモのサービス／クラウド 123
ロック／セキュリティ 124
言語と入力 137
アカウントを追加 138
日付と時刻 139
ユーザー補助 139
タブレット情報 139

ファイル管理 140

本体（内部ストレージ） 140
microSDカード（外部ストレージ） 140
ファイル操作 142

データ通信 143

Bluetooth®通信 143
NFC通信 146

外部機器接続 147

パソコンとの接続 147
プリンタとの接続 147
DLNA対応機器との接続 149
その他の機器との接続 152

海外利用 154

国際ローミング（WORLD WING）の概要 154
海外で利用できるサービス 154
海外で利用する前の確認事項 154
帰国後の確認 156

付録／索引 157

オプション・関連機器のご紹介 157
トラブルシューティング（FAQ） 157
あんしん遠隔サポート 163
本端末の初期化 163
保証とアフターサービス 164
ソフトウェア更新 166
Androidバージョンアップ 169
主な仕様 172
認定および準拠について 175
Declaration of Conformity 175

Federal Communications Commission (FCC) Notice 175
FCC RF Exposure Information 176
Important Safety Information 177
輸出管理規制 178
知的財産権 178
SIMロック解除 183
索引 184

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカードやFOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモのキャプチャ音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は、ホーム画面で→［設定］→［タブレット情報］→［マイプロフィール］をタップしてご確認いただけます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P166
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一本端末を紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P127
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケットパック／パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、https://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカード、USB同軸変換ケーブルの取り扱い（共通）..... 7
本端末の取り扱い..... 9
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い..... 11
ドコモminiUIMカードの取り扱い..... 12
USB同軸変換ケーブルの取り扱い..... 13
医用電気機器近くでの取り扱い..... 13
材質一覧..... 14

◆本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカード、USB同軸変換ケーブルの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能について→P21「防水／防塵性能」

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能について→P21「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く**
- **本端末の電源を切る**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリや動画、テレビの視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムポリマー電池

⚠危険

禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P14「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

◆ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆USB同軸変換ケーブルの取り扱い

⚠警告

禁止

USB同軸変換ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

USB同軸変換ケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したらUSB同軸変換ケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

USB同軸変換ケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にUSB同軸変換ケーブルを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でUSB同軸変換ケーブルのコードや端子に触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	サイド化粧パーツ（側面2箇所）	PET／なし
	リアケース	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
TVアンテナ	先端部	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パイプ部	ステンレス鋼／なし
	根元屈曲部	ニッケルチタン合金／なし
	根元回転部（上側、下側）	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
カメラパネル		PMMA＋PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
サイドキー	電源キー、音量キー	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子コネクタキャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
スロットキャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
イヤホンジャック		PA樹脂／なし
指紋センサー	センサー部	エポキシ樹脂／なし
	外周	ステンレス鋼／クロムコーティング
充電端子		ステンレス鋼／金メッキ

■ACアダプタ F07

使用箇所		材質／表面処理
ケース		PC樹脂／なし
ラベル		ポリエステル／PET
ACインレット	樹脂部	PBT、GF複合／なし
	金属部	黄銅／ニッケルメッキ
コード外皮		PVC樹脂／なし
DCプラグ	樹脂部	PVC樹脂／なし
	金属部	黄銅／ニッケルメッキ

■卓上ホルダ F43

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	上ケース、背面ケース、下ケース	ABS樹脂／なし
充電端子	端子レバー、SWレバー	POM樹脂／なし
	接点バネ	リン青銅／金メッキ
低摩擦シート		ポリエチレン／なし
ゴム足		ポリウレタン／なし
銘板		ポリエステル／なし
製造番号ラベル		アート紙／ポリプロピレン
ネジ		鉄／三価クロメート

■USB同軸変換ケーブル F01

使用箇所	材質／表面処理
同軸ケーブル、microUSBプラグ（キャップ部）	PVC樹脂／なし
microUSBプラグ	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
F型コネクタモールド部	ABS樹脂／なし
F型コネクタ	真鍮（黄銅）／銅下地ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-02Fは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を入れたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカード、USB同軸変換ケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れるとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップとスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。

- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。

- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

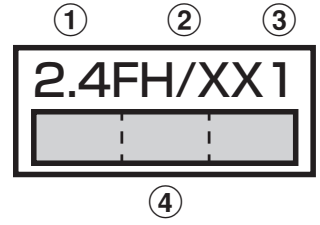
◆USB同軸変換ケーブルについてのお願い

- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、F型コネクタ（受け）やmicroUSBプラグを変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ケーブルを使ってテレビを視聴しない場合は、持ち歩くときなどにケーブルがぶつかってタッチパネルを傷つける恐れがありますので、本端末に接続したままにしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**

本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetooth機能の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

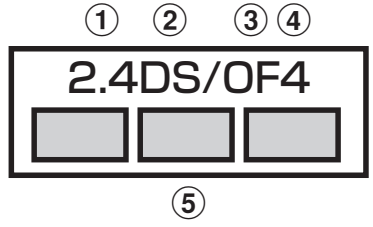
- **無線LANについて**

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- **周波数帯について**

本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルおよび5GHz帯の120～128チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、38、40、42、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、54、56、58、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5500～5700MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140Ch）

◆NFCリーダー／ライターについて

- **本端末のNFCリーダー／ライター，P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター，P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**
- **航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面で→［設定］→［タブレット情報］→［認証］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中に携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

防水／防塵性能

F-02Fは、外部接続端子キャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

※2 F-02FにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-02Fを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

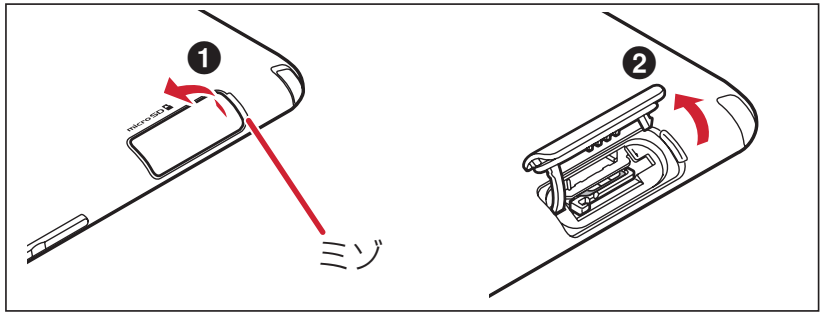
❖F-02Fが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、外部接続端子キャップやスロットキャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - 外部接続端子キャップやスロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P24）で水抜きしてください。
- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P24）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

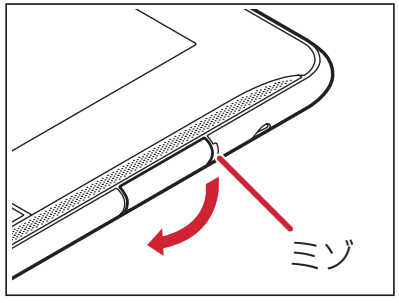
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

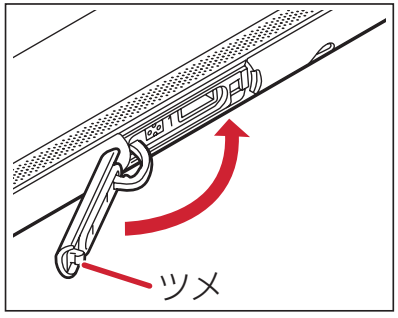
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、スロットキャップのミゾに指先をかけて一度キャップを上に浮かせ（❶）、矢印（❷）の方向へ開きます。

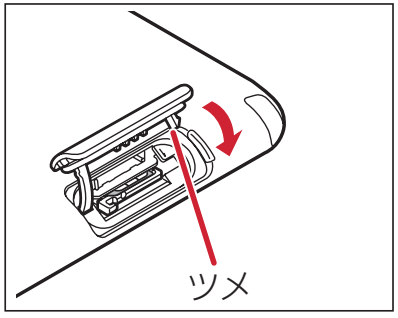


外部接続端子を使用するときには、外部接続端子キャップのミゾに指先をかけて矢印の方向へ開きます。



また、ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は次の図の示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。





- 外部接続端子キャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカーなどを尖ったもので つつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。卓上ホルダ（付属品）に本端末を差し込んだ状態でテレビの視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。F-02FはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

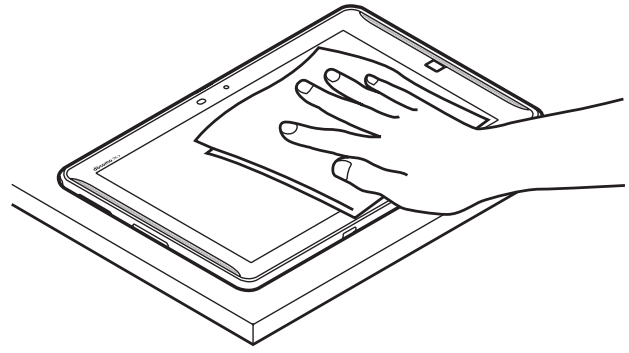
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となる恐れがあります。
- 外部接続端子キャップやスロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

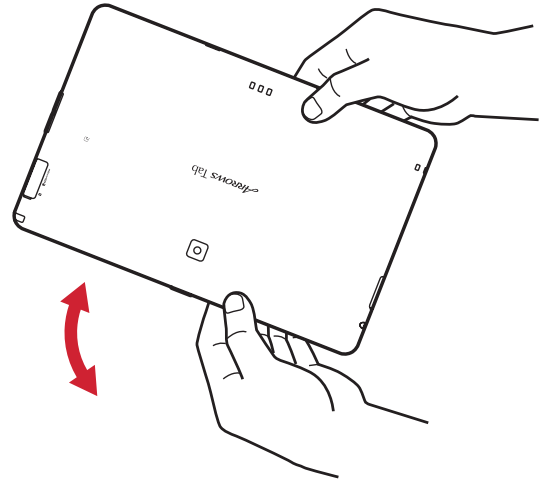
◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

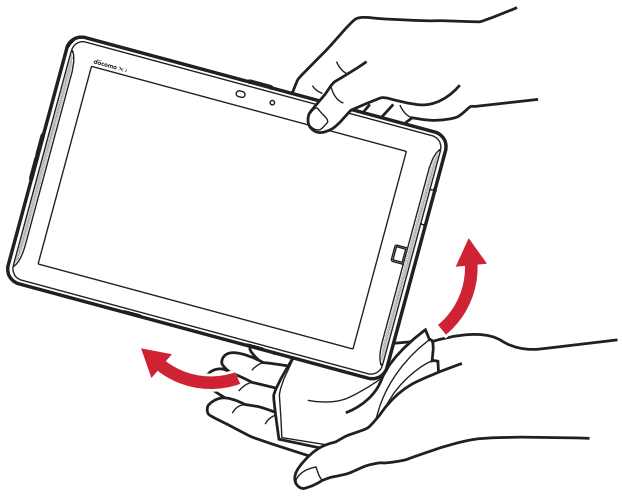
① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



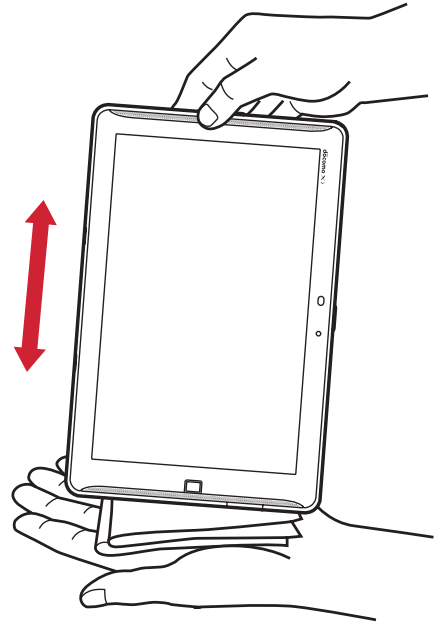
② 本端末のディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180度持ち替えて同様に10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



③ 外周部の隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末の四隅を各10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



④ ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



⑤ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

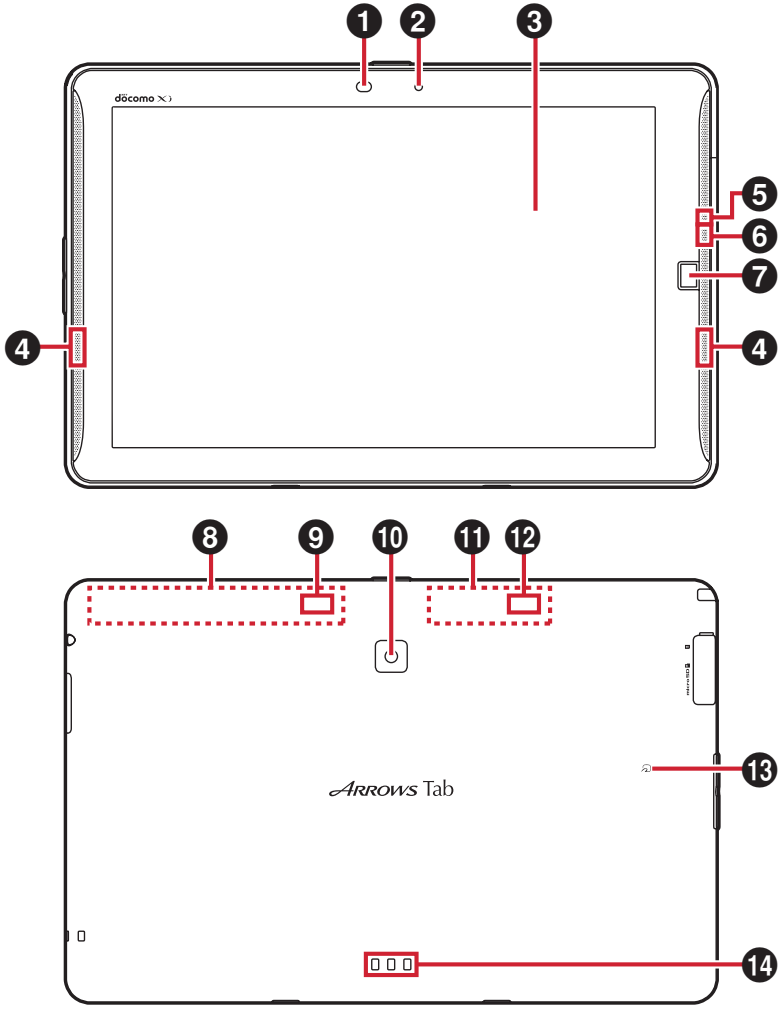
◆充電のときには

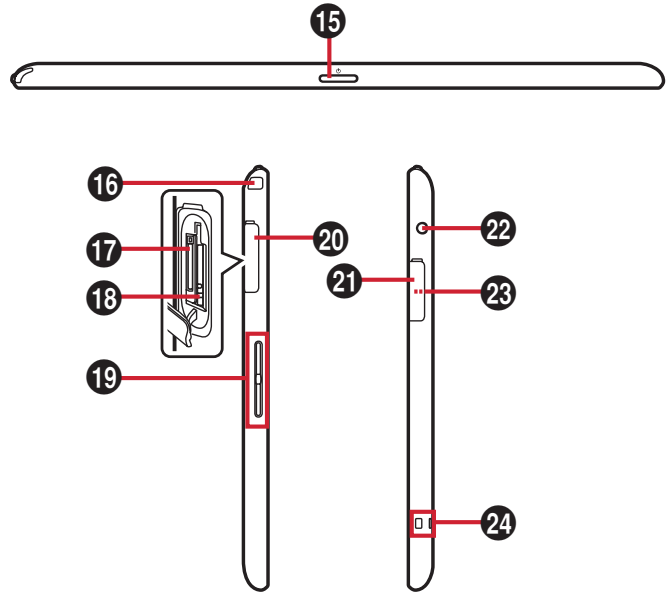
充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能





❶ RGBセンサー※1
周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。
❷ インカメラ
❸ ディスプレイ（タッチパネル）
❹ スピーカー
❺ お知らせLED
❻ マイク
❼ 指紋センサー
指紋認証操作のほか、画面ロックの解除やスリープモードの設定／解除を行います。
❽ Xi／FOMAアンテナ部※2
❾ GPSアンテナ部※2
❿ アウトカメラ
⓫ Xiアンテナ部※2
⓬ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部※2
⓭ マーク
⓮ 充電端子

⓯ **電源キー** ⏻
電源操作のほか、スリープモードの設定／解除を行います。タブレットオプションメニューが表示されるまで⏻を押し続けて再起動の操作、機内モードやマナーモードの設定／解除、タッチブロックモードの設定を行います。タッチブロックモード中は、⏻を押してタッチブロックモードを解除します。
⓰ **TVアンテナ**
テレビ視聴／モバキャス視聴時に伸ばします。
⓱ **microSDカードスロット**
⓲ **ドコモminiUIMカードスロット**
⓳ **音量キー**
⓴ **スロットキャップ**※3
㉑ **外部接続端子キャップ**※3
㉒ **ステレオイヤホン端子（防水）**
㉓ **外部接続端子（MHL兼用）**
㉔ **ストラップホール**

※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、正しく検知されない場合があります。
※2 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
※3 水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

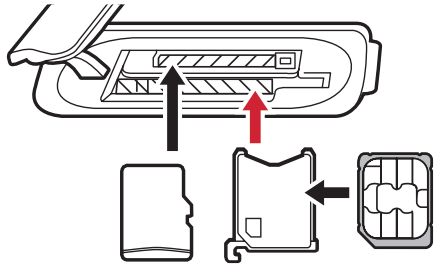
◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ドコモminiUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモminiUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

① 本端末の裏面側を上に向けてスロットキャップを開ける→P22

- スロットキャップを開けると、本端末のディスプレイ側にドコモminiUIMカードスロット、裏面側にmicroSDカードスロットがあります。



microSDカード　ドコモminiUIMカード

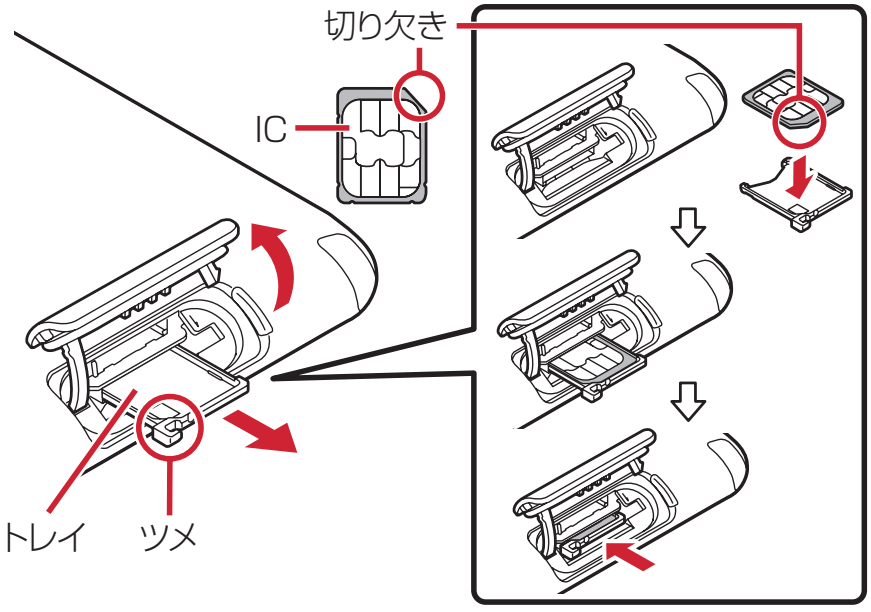
② トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す

- トレイはドコモminiUIMカードスロットから外れる構造になっています。

③ ドコモminiUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる

- 切り欠きの方向にご注意ください。

④ 本端末の裏面側が上に向いていることを確認して、トレイをドコモminiUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む



⑤ 本端末のスロットキャップを閉じる→P22

■ 取り外しかた

① 本端末の裏面側を上に向けてスロットキャップを開け、トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出してドコモminiUIMカードを取り外す

② 本端末の裏面側が上に向いていることを確認して、トレイをドコモminiUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む

③ 本端末のスロットキャップを閉じる→P22

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

- トレイをドコモminiUIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P126

充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電可能な状態になると、再度充電を開始します。
  - 充電器の電圧が充電可能な範囲外になった
  - 内蔵電池または端末の温度※が充電可能な範囲外になった

  ※ 高温になった場合は、温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。充電器から取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P172

❖内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 「タブレット情報」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P139
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 03／04／05／F05／F06（別売品）
ACアダプタ F07（付属品）：
AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

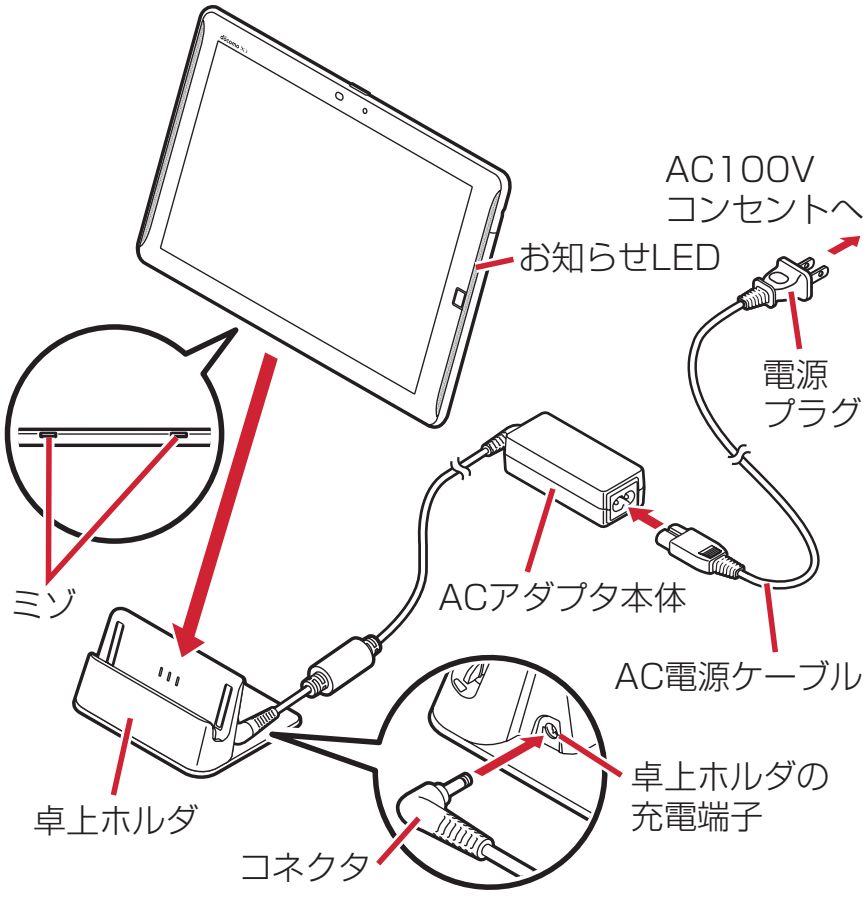
DCアダプタ 03／04（別売品）：
自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ F43（付属品）とACアダプタ F07（付属品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

① ACアダプタ本体にAC電源ケーブルを差し込む
② ACアダプタ本体のコネクタを卓上ホルダの充電端子に差し込む
③ AC電源ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込む
④ 本端末のミゾを卓上ホルダの突起部に合わせて「カチッ」と音がするまで差し込み、お知らせLEDの点灯を確認する
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外し、AC電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜く
⑥ 卓上ホルダからACアダプタ本体のコネクタを抜く



✔お知らせ

- ホーム画面（スリープモード、ロック画面含む）表示中に卓上ホルダでの充電を開始すると、横画面専用メニューが表示されます（シアターモード）。
  - 本端末を卓上ホルダから取り外すとシアターモードは終了しますが、シアターモードから起動したアプリは引き続き表示されます。
  - 本端末を卓上ホルダに接続した状態で電源を入れた場合は、シアターモードは起動しません。

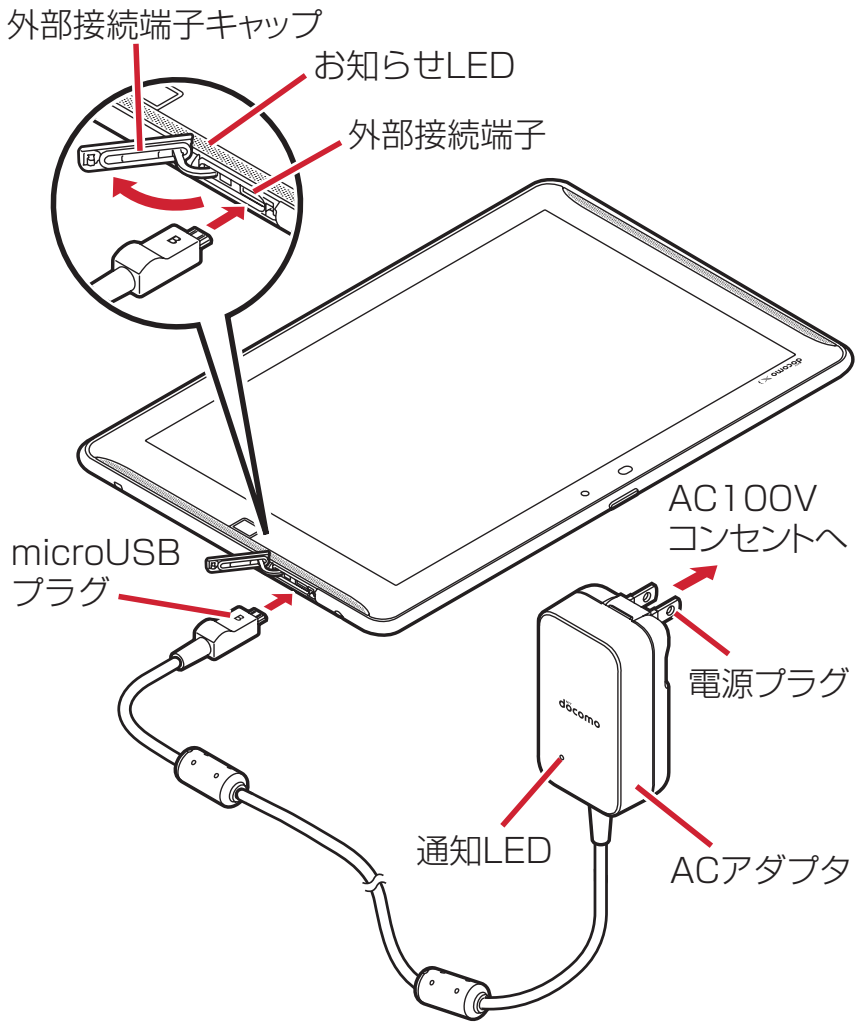
- シアターモード表示中は1分後にスリープモードになります。スリープの設定時間が「2分」「5分」「10分」の場合は、スリープの設定に従ってスリープモードになります。
- シアターモードの表示／非表示や、配置するアプリを設定できます。→P115

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

① 本端末の外部接続端子キャップを開ける→P22
② ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、本端末の外部接続端子に水平に差し込む
③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
⑤ 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜き、本端末の外部接続端子キャップを閉じる→P22



◆ パソコンを使って充電

PC接続用USBケーブル T01（別売品）やmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。
- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、［キャンセル］を選択してください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで ⏻ を押し続ける（2秒以上）

バイブレータが振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P40

2 ロック画面で

- ロック画面→P44
- セキュリティ解除方法の設定（→P127）によっては、ロック画面での認証操作になります。

◆ 電源を切る

1 タブレットオプションメニューが表示されるまで ⏻ を押し続ける

2 [電源を切る]→[OK]

バイブレータが振動して電源が切れます。

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

- タッチ操作が認識されているときに、振動でお知らせするかを設定できます（はっきりタッチ→P114）。

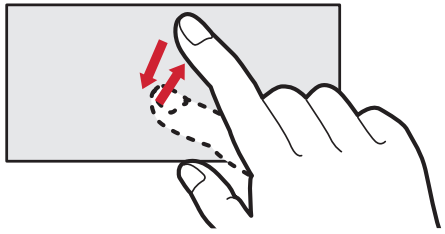
❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ロングタッチ

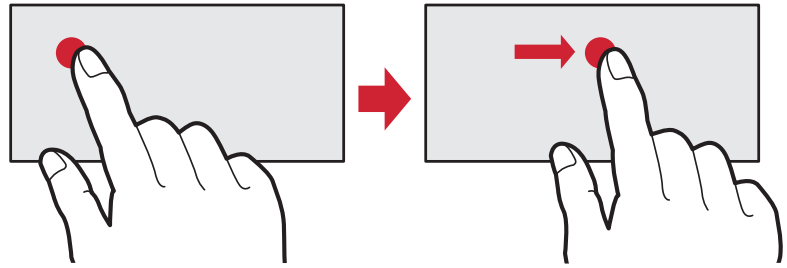
画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

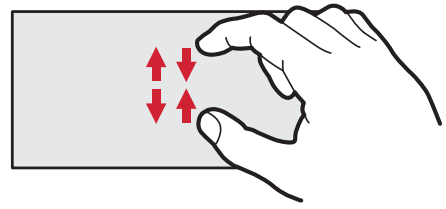
パン：ウェブページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

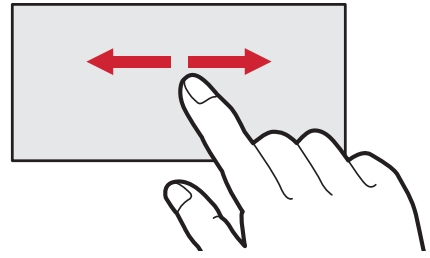
❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P116）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- 見ている向きに合わせて縦／横画面の向きを固定できます（あわせるローテーション→P117）。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 と音量キーの下を同時に押す（1秒以上）

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに が表示されます。

- 通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で→［ギャラリー］→［Screenshots］をタップすると、画像を確認できます。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P38
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P39

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、50音キーボード、手書き入力で文字を入力できます。

- 「手書き入力の設定」で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、QWERTYキーボードや50音キーボード、テンキーキーボード（縦画面のみ）が表示されている状態で手書き入力ができます。→P38

■ テンキーキーボード

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P37

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 50音キーボード

50音順、アルファベット順で入力します。

■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。

• 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

① 戻す：直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
：キーに割り当てられた文字を逆順に表示
：カーソルを左に移動
／：カーソルを上下に移動
記号：記号一覧の表示
あA1／あ A：かな／英字／数字入力モードの切り替え
Caps Lock：大文字固定に設定／解除
：QWERTYキーボードの英字入力時にロングタッチしている間のみ大文字に切り替え
：50音キーボードの英字入力時に最初の1文字のみ大文字／大文字／小文字の切り替え
#&?：記号入力モードに切り替え
カタカナ：ひらがな／カタカナの切り替え
：顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示

② ：カーソルの左側の文字を削除（Backspace）
• 文字確定後にキーを上にドラッグすると、カーソルの右側の文字を削除できます（Delete）。
：カーソルを右に移動
：空白の入力
変換：文字の変換
次へ：次の入力項目にカーソル移動
：確定または改行
小：小文字・濁点・半濁点／大文字の切り替え
全角 半角：全角／半角の切り替え

③ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
• 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択することもできます。
• QWERTYキーボードで、左右にキーボードを分けたときは中央に手書き入力領域が表示されます。

④ MENU：メニューの表示
• メニューを表示すると、次の操作ができます。
定型文：定型文の表示
ATOKダイレクト：電話帳／ATOKダイレクトの引用、パスワードマネージャーの引用
テーマ切り替え：キーボードのデザインを変更
設定：NX!inputとATOKの設定→P38
パスワードマネージャー：パスワードマネージャーの引用
絵文字：顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
記号：記号一覧の表示

音声：音声入力の起動
10キー：テンキーキーボードの表示
- タップするたびにテンキーキーボードの位置を切り替えられます。

QWERTY：QWERTYキーボードの表示
- タップすると分割キーボードと通常キーボードを切り替えられます。

あ 50音：50音キーボードの表示
- タップすると50音キーボード（50音順）の左向きと右向きを切り替えられます。

手書き：手書き入力の表示
：上書き手書き入力の有効／無効

✔お知らせ

- キーボードを非表示にするには▽をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- 「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。→P38

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックしたあと゛゜小を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

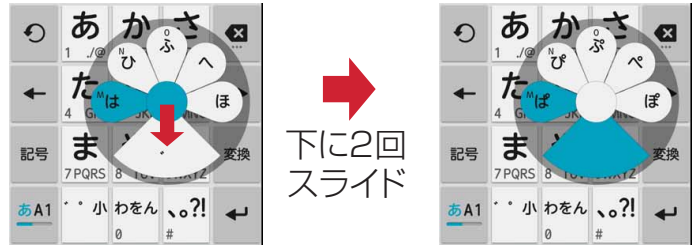
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップしたあと゛゜小を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 他の入力方法に切り替え

Googleキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力することもできます。

- Googleキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書き入力でのみ入力できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]→[デフォルト]→入力方法を選択

✔お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で［日本語 NX!input］を選択します。

◆ NX!inputとATOKの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]

2 [NX!input]の⚙をタップ

3 各項目を設定

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。
テンキーの設定：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力の設定（トグル入力、フリックガイド、フリック感度、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の設定（自動カーソル）、ジェスチャー入力の設定（トグル入力、ジェスチャーガイド）、文字削除キーを設定できます。
QWERTYキーボードの設定：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面／横画面）を設定します。
手書き入力の設定：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード、50音キーボード）、確定速度、線の設定（太さ、色）を設定します。
共通の設定：推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除フリック、バックキー、自動全画面化（横画面）、タッチ位置補正、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

- アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。

候補一覧設定：文字サイズ、表示行数（縦画面／横画面）、候補表示タイミングを設定します。
デザイン：テーマ、アニメーション、キーサイズ（縦画面／横画面）を設定します。
ユーティリティ：辞書ユーティリティでユーザー辞書の登録や編集、定型文ユーティリティで定型文の登録や編集、ATOK SyncでWindows／Mac版ATOKで登録した単語を共有します。
初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- ［設定の初期化］を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

◆テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストの切り取り／コピー

■文字入力欄での切り取り／コピー

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 [切り取り]／[コピー]

■Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから［テキストを選択してコピー］をタップなどの操作をします。

2 [コピー]

クリップボードにコピーされます。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をタップ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆外付けキーボードの利用

本端末と、USBキーボードやBluetoothキーボード（HID／SPP）を接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。

❖外付けキーボードの接続

- Bluetoothキーボードの接続方法→P144

■USBキーボードの接続

1 USBキーボードと本端末の外部接続端子を接続

❖外付けキーボードの設定

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]

- 外付けキーボードが接続されていると、物理キーボード欄が表示されます。

2 物理キーボードで任意のキーボードを選択→[キーボードレイアウトの設定]→任意のキーボードレイアウトにチェック→→任意のキーボードレイアウトを選択

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

1 Googleアカウントを設定

- 画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定してください。後で設定することもできます。

2 ARROWS はじめに設定画面で項目を設定

ファミリー利用設定：標準モード／ファミリーモードを設定します。→P119

3 [完了して進む]

- 「次回も表示」が表示されている場合は、チェックを外すと次回から設定画面が表示されなくなります。

4 ドコモサービスの初期設定画面で[すべてのリンク先の内容に同意する]にチェック→[設定をはじめる]

5 各項目を設定→[進む]

docomo ID：ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。
ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。

ドコモ位置情報：本端末の位置情報を提供するかを選択します。
遠隔初期化：遠隔初期化を設定します。

- ドコモアプリパスワードを設定すると表示されます。

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

6 [使いはじめる]→[今すぐはじめる]

ホーム画面が表示されます。

✔お知らせ

- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- ソフトウェア更新の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- 操作ガイドが表示された場合は、［以後表示しない］または［OK］をタップします。

❖その他の初期設定について

必要に応じて、次の項目を設定してください。
- Eメールのアカウントの設定→P59
- Wi-Fi機能の設定→P106
- アクセスポイント（APN）の設定→P105

お知らせLED

充電中や新着SMSなど、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯
充電中：赤色点灯
充電異常：赤色点滅
新着SMS：点滅色は「メッセージ」アプリで設定→P59

✔お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのアイコン

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

ナビゲーションバー

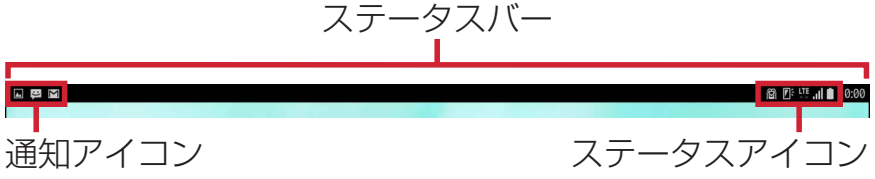
キャプメモアイコン
タップ：画面のキャプチャ→P45
バックアイコン
タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了
ホームアイコン
タップ：ホーム画面に戻る→P47
ロングタッチして🔍までスライド：しゃべってコンシェルまたはGoogleの起動
タスクアイコン
タップ：最近使ったアプリの表示→P46

✔お知らせ

- アプリによっては、ナビゲーションバーに☰が表示される場合があります。タップすると設定項目などを表示します。

◆ ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

: 新着Gmail
: 新着Eメール
: 新着ドコモメール
: 新着SMS
: 新着エリアメール
: SMSの送信失敗
: Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能
: Wi-Fiテザリングが有効
: USBテザリングが有効
: Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効
／: データのアップロード完了／ダウンロード完了
: Google Playなどからのアプリがインストール完了
: Google Playのアプリがアップデート可能
: φ3.5イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
: φ3.5イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
／(白)：ワンセグ視聴中／録画中
／(青)：フルセグ視聴中／録画中
: ワンセグ／フルセグの録画準備中
: VPN接続
／／: ソフトウェア更新あり／完了／継続不可
: Androidバージョンアップ
: NX!エコ
: スクリーンショットで画像を保存
: モバキャス受信中
: おまかせロック設定中
: 本端末のメモリの空き容量低下
: アプリ電池診断（電池を消耗しているアプリを検出）
: Dolby Digital PlusがON
: エラー／警告メッセージあり
: タッチブロックモード中
: docomo ID設定の認証失敗

■ 主なステータスアイコン

: 電波状態
: 圏外
: 国際ローミング中
／／: LTE／3G／GSM使用可能
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

: 機内モード設定中
: Wi-Fi接続中
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

: Bluetooth機能ON
: Bluetooth機器接続中
: GPS測位中
: マナーモード（通常マナー）
: マナーモード（サイレントマナー）
: マナーモード（アラームONマナー）
: マナーモード（オリジナルマナー）
: 電池残量0～4%（要充電）
: 電池残量5～15%（ほとんどない）
: 電池残量16～30%（少ない）

: 電池残量31～79%
- 31～79%にかけて、残量表示（白色の範囲）が変化します。

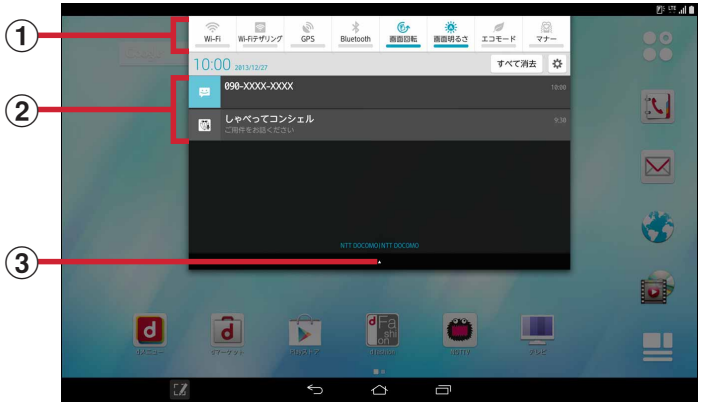
: 電池残量80～100%（十分）
: 充電中
(白)：持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）
(グレー)：持ってる間ON設定中
あ: かな入力モード
A: 英字入力モード
数: 数字入力モード
: 手書き入力モード
他: 絵文字／顔文字／記号、定型文入力
: IP通話アプリの音質サポート

◆通知パネル

通知パネルを開くと、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりすることができます。

❖通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方向にフリック



① **設定スイッチ**
設定スイッチをタップすると、各設定を切り替えることができます。また、設定スイッチの機能割り当ては変更できます。→P43

② **通知**
各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

③ **タブ**

✔お知らせ

- 通知パネルで［すべて消去］をタップすると、通知が消去されます。通知内容によっては［すべて消去］が表示されない場合があります。
- 通知パネルで⚙をタップすると、設定メニューを表示できます。

❖通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のタブを上方向にフリック、または

❖設定スイッチを変更する

設定スイッチの機能割り当てを変更します。

1 通知パネルの設定スイッチをロングタッチ

2 機能の一覧画面で機能を選択

◆ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、スリープ／持ってる間ONの設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

1 ⏻

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

手動でスリープモードにする：⏻

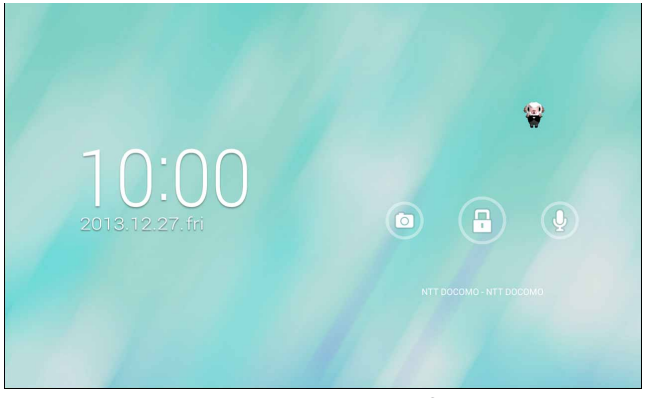
✔お知らせ

- 指紋センサーを押しても、スリープモードにしたり解除したりできます。

◆ロック画面が表示されたら

1 ロック画面で

ロックが解除されます。



「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

- セキュリティ解除方法の設定（→P127）によっては、ロック画面での認証操作になります。
- ロック画面の📷をタップするとカメラが起動します。
- ロック画面の🎤をタップするとしゃべってコンシェルまたはGoogleを起動できます。

✔お知らせ

- 指紋センサーに指をスライドしても、画面ロックを解除できます。指紋センサーを押してスリープモードを解除した後に操作する場合は、センサーから一度指を離した後、指をスライドさせてください。
- 「ウィジェットの有効化」（→P128）がオフの場合、ロック画面は10秒後にスリープモードになります。オンの場合、ロック画面はスリープ（→P115）の設定に従ってスリープモードになります。ただし、スリープの設定が30秒以上の場合は、30秒後にスリープモードになります。
- セキュリティ解除方法の設定が［タッチ／スワイプ］の場合は、ロック画面で通知パネルを表示できます。

❖ロック画面のウィジェット

「ウィジェットの有効化」をオンにすると、ロック画面の左端から右にフリックして、ウィジェット追加画面を表示できます。→P128

- ウィジェット追加画面からウィジェット画面を追加したり、はじめに表示されるロック画面を別のウィジェット画面に変更したりできます。

ウィジェット画面の追加：ウィジェット追加画面で［ウィジェットを追加］→ウィジェットを選択

- ウィジェット追加画面の右側に追加したウィジェット画面が配置されます。

はじめに表示されるロック画面の変更：ロック画面にしたいウィジェット画面を表示→ウィジェット画面をロングタッチ→一番右側までドラッグ

ウィジェット画面の並び替え：ウィジェット画面をロングタッチ→移動先までドラッグ

ウィジェット画面の削除：ウィジェット画面をロングタッチ→［×削除］までドラッグ

◆スライドインランチャー／キャプメモ

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーとキャプメモを呼び出すことができます。

• スライドイン機能設定→P116

❖スライドインランチャー

スライドインランチャーのショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- 初期状態では画面の左下隅のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されています。
- スライドインランチャーと同時に呼び出される の位置で指を離すと、スライドイン機能設定を起動できます。

2 目的の操作を行う

❖キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 ナビゲーションバーの をタップ

- スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、「キャプメモ」領域で指を離しても画面をキャプチャできます。初期状態では画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモが設定されています。

2 目的の操作を選択

画像を編集：ツールをタップして編集操作を行う→［保存］

- 画像は、ギャラリーの「Screenshots」に保存されます。
- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有：［共有］→アプリを選択→画面の指示に従って操作

- ［共有］の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

✔お知らせ

- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。URLの情報を共有時に貼り付けるかどうかは、画像編集画面で →［URL共有設定］をタップして設定できます。

◆ 画面のカスタマイズ

パターン認証画面、指紋認証画面、キーボード（NX!input）、ナビゲーションバー、電池アイコンを好みのデザインに変更できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[画面のカスタマイズ]

2 各項目を設定

タスク管理

をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 をタップ

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリを表示できます。
- サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。
- サムネイルを上下にフリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには［すべて終了］をタップします。

✔お知らせ

- 最近使ったアプリの表示／非表示を設定できます。→P131

ホームアプリの切り替えかた

をタップして表示される画面（ホーム画面）を変更します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[ホーム画面切替]

2 切り替えるホームアプリを選択

✔お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えるとロック画面の壁紙が変更される場合があります。

タッチブロックモード

タッチ操作で画面が反応しないように設定できます。子供の誤操作を防止するチャイルドロックとしても使用できます。

1 タブレットオプションメニューが表示されるまでを押し続ける→[タッチブロックモード]→[OK]

- 設定を解除するには、を押します。

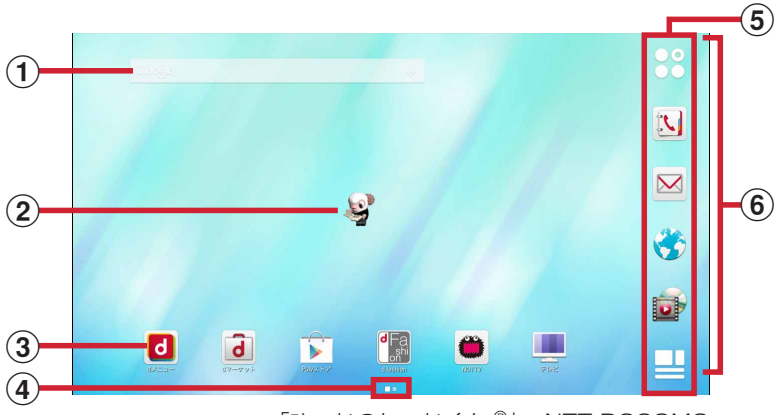
✔お知らせ

- スリープモードになると、タッチブロックモードが解除されます。

docomo LIVE UX

ホーム画面

ホーム画面は、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。



「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

① **ウィジェット**
ウィジェット（Google検索）を起動できます。
② **マチキャラ**
着信やメール受信などのお知らせを表示します。
③ **アプリ**
アプリを起動できます。
④ **インジケータ**
ホーム画面の現在表示位置を示します。左右にフリックして表示を切り替えます。
⑤ **ドック**
ホーム画面に表示されます。
アプリボタン：アプリ一覧画面を表示します。→P49
マイマガジンボタン：マイマガジンを表示します。→P53
⑥ **カスタマイズエリア**
アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリやウィジェットを貼り付けたり、フォルダを作成してアプリを管理したりすることができます。

- アプリは、ホーム画面またはアプリ一覧画面のいずれかに配置されます。
- ホーム画面に配置されたアプリ、ウィジェット、フォルダをロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [アプリを表示]／[ウィジェットを表示]／[フォルダを作成]／[マチキャラ表示設定]

3 必要に応じて項目の選択や設定を行う

- アプリ／ウィジェット一覧画面でアイコンをロングタッチして画面下部のホーム画面表示領域までドラッグすると、ホーム画面に追加することができます。
- フォルダを選択してフォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更できます。
- アプリをロングタッチして、他のアプリの上にドラッグ→［作成する］をタップしてもフォルダを作成できます。

・ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。

✔お知らせ

・ドック（→P47）にもアプリやフォルダを配置できます。ただし、は移動／削除／変更ができません。はホーム画面で→→［マイマガジン表示設定］で、ホーム画面表示の有無を設定できます。

❖アプリ／ウィジェットをホーム画面から削除

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 ［ホーム画面から削除］／［アプリ一覧に戻す］までドラッグ

・アプリの場合はアプリ一覧画面（→P49）に移動します。

アプリやウィジェットの無効化：アプリまたはウィジェットをロングタッチして［アプリ無効化］までドラッグ→［無効にする］→［OK］

✔お知らせ

・アプリをロングタッチして［アンインストール］が表示された場合は、アプリを［アンインストール］までドラッグして［OK］をタップすると、アンインストールすることができます。

◆きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 ［きせかえを変更］／［壁紙を変更］

3 項目の選択や設定を行う

✔お知らせ

・きせかえの設定は、ホーム画面で→→［きせかえ］をタップしても設定できます。

・パターン認証画面、指紋認証画面、キーボード（NX!input）、ナビゲーションバー、電池アイコンを変更するには、ホーム画面で→［設定］→［ディスプレイ］→［画面のカスタマイズ］で設定できます。

◆ホーム画面の追加／削除

最大7件までのホーム画面を設定できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 ［ホーム画面一覧］

・初回設定時は操作ガイドが表示されます。［以後表示しない］または［OK］をタップします。

3 目的の操作を行う

追加：［+］

並べ替え：ホーム画面のサムネイルをロングタッチして移動先までドラッグ

削除：［×］

・アプリやウィジェットなどが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。

表示：ホーム画面のサムネイルをタップ

✔お知らせ

- ホーム画面で→→［ホーム画面一覧］をタップしても設定できます。また、ホーム画面の任意の位置でピンチインしても、ホーム画面一覧を表示できます。

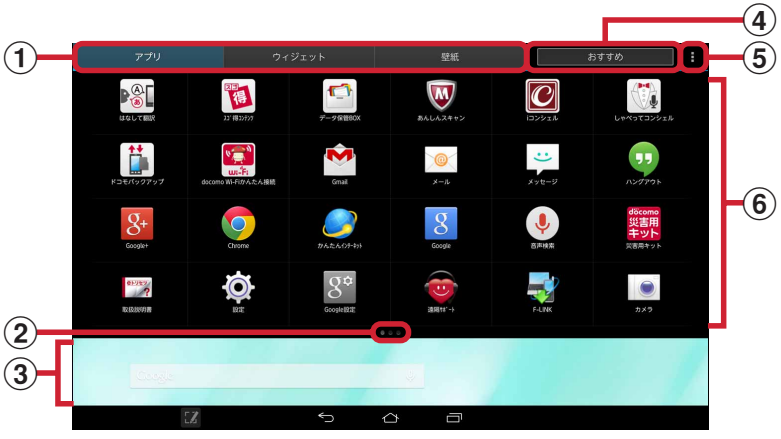
アプリ一覧画面

アプリ一覧画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- アプリ一覧画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。

1 ホーム画面で

- 初回起動時は操作ガイドが表示されます。［以後表示しない］または［OK］をタップします。
- ホーム画面を下方向へフリックしてもアプリ一覧画面を表示できます。



① アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ

② インジケータ（タブごとに表示）

- 一覧画面の現在表示位置を示します。

③ ホーム画面表示領域

- 左右にフリックしてホーム画面を切り替えることができます。
- 上にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。

④ おすすめボタン→P52

⑤ メニューアイコン

- 設定メニューの表示（→P101）、きせかえの変更（→P48）、docomo LIVE UX操作ガイドの確認などができます。

⑥ アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧（タブごとに表示）

- 左右にフリックして選択したり、設定したりします。
- アプリによっては、アイコンに未読件数などが表示されるものがあります。
- アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、アプリをホーム画面に移動できます。

◆プリインアプリ一覧

Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

DiXiM Player：ホームネットワーク上のテレビ録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P149

docomo Wi-Fiかんたん接続：ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」を便利に利用するためのアプリです。Wi-Fiエリア内で、自動でWi-Fiへの接続ができます。また、Wi-Fiエリアを検索することもできます。

Document Viewer：Office文書やPDFファイルなどを表示できます。
dキッズ：ぬりえ、絵本、図鑑など、お子さまの力を育む豊富な知育コンテンツです。お子さまの使い過ぎや誤操作を防止し、安心して使えるキッズモードも搭載しています。
dマーケット：音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。→P70
dメニュー：「ｄメニュー」へのショートカットアプリです。ｄメニューでは、ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→P70
F-LINK：Wi-Fi機能を利用してパソコンなどの外部機器と接続し、ファイルの共有や画像／動画のデータの送受信ができます。
Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P62
Google：本端末内の機能やWebサイトを検索します。→P97
Google+：大量のデータ（メールや連絡先、写真、Office文書など）を、さらに活用するためのSNS機能を利用できます。
Google設定：Googleの各サービスの設定をまとめて行うアプリです。
ICタグ・バーコードリーダー：ICタグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。
ｉコンシェル：ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
ｉチャネル：天気、ニュース、芸能・スポーツ、占いなど9つの様々なジャンルの最新情報を自動でホーム画面にお届けするアプリです。
KSfilemanager：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。
NOTTV：モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。→P72
Playゲーム：新しいゲームの発見、実績やスコアの管理ができるほか、世界中の人とマルチプレイが簡単に楽しめます。
Playストア：Google Playを利用できます。→P70
Playブックス：ダウンロードした電子書籍を閲覧できます。
Playミュージック：音楽を再生します。
Playムービー &TV：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。
Twitter：Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
YouTube：YouTubeの動画が見られます。
あんしんスキャン：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
遠隔サポート：「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P163
お試しパズるん：パズルが遊び放題の総合パズルアプリです。

音声検索：端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。→P97
カメラ：静止画や動画を撮影します。→P85
かんたんインターネット：簡単な操作で、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P67
ギャラリー：カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生できます。→P90
災害用キット：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P62
写真：写真の閲覧や加工ができます。またGoogleのクラウドに保存することもできます。
しゃべってコンシェル：やりたいこと、知りたいことなどを端末に話しかけると、その言葉を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
将棋ウォーズ：将棋をオンラインでも対戦できます。
スケジュール：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
スゴ得コンテンツ：「スゴ得コンテンツ」へのショートカットアプリです。スゴ得コンテンツでは、定番・人気コンテンツを厳選しており、天気・ニュースなどの幅広いジャンルのコンテンツが利用できます。
設定：本端末の各種設定を行います。→P101
データ保管BOX：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
テレビ：テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴します。→P77
電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P96
統合辞書＋：日本を代表する辞書をひとつのパッケージにおさめた、毎日の学習・仕事のあらゆるシーンに対応できる辞書ソフトです。→P96
どうぶつSW：どうぶつしょうぎをオンラインでも対戦できます。
時計：時刻の確認、アラームの設定などができるアプリです。→P94
ドコモ電話帳：ドコモが提供する電話帳アプリを利用して、連絡先の管理を行います。→P54
ドコモバックアップ：「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。→P98
ドコモメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P57
ドライブ：本端末に保存されている写真や動画などをGoogleドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。
取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
トルカ：お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P72
はなして翻訳：お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

ハングアウト：Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントのメンバーとチャットができます。
フォトコレクション：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P64
麻雀：麻雀をオンラインで対戦できます。
マップ：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P94
メール：一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。→P59
メッセージ：SMSの送受信ができます。→P57
メディアプレイヤー：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P91
メモ：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
予定表：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。→P95

✔お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、初期状態でホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしてもPlayストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P70
- プリインアプリによっては、初回起動時にPlayストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆アプリ一覧画面の管理

1 アプリ一覧画面表示中に目的の操作を行う

アプリの無効化：アプリをロングタッチして［アプリ無効化］までドラッグ→［無効にする］→［OK］
アプリのアンインストール：アプリをロングタッチして［アンインストール］までドラッグ→［OK］
アプリの並べ替え：アプリをロングタッチして移動先までドラッグ
ホームアプリの情報確認：⋮→［アプリケーション情報］
検索：⋮→［検索］

- 本端末内のアプリやWeb上の情報を検索できます。

◆「おすすめ」アプリのインストール

［おすすめ］ボタンをタップすると、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で→［おすすめ］

- 初回起動時はおすすめアプリの説明画面が表示されます。確認後、［おすすめアプリを見る］をタップします。

2 アプリを選択

以降は画面の案内に従って操作します。

- すべてのおすすめアプリを確認する場合は、おすすめアプリ一覧の［おすすめアプリをすべて見る］をタップします。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。

◆ ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 初回設定時はマイマガジンの説明画面が表示され、ジャンルを選択することができます。確認後、［OK］をタップします。
- ホーム画面を上方向へフリックしてもマイマガジンを表示できます。
- Twitter連携の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 ［マイマガジン設定］→［表示ジャンル設定］→ジャンルを選択→［OK］

◆ 記事の見かた

ジャンル別の記事一覧画面で［もっと見る］をタップすると、記事一覧画面に表示されていた記事以外の情報項目が並ぶ「もっと見る画面」が表示され、記事を選択すると、記事表示画面で詳細情報を閲覧できます。

電話帳

電話帳の使いかた

電話帳の連絡先には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡できます。

- 電話帳でクラウドを利用するには、ドコモ電話帳アプリが必要となります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。

1 ホーム画面で→[連絡先]

連絡先画面が表示されます。

- をタップすると、削除や設定などの操作ができます。

連絡先画面

① 連絡先タブ
② グループタブ→P55
③ マイプロフィールタブ→P56
④ タイムラインの表示→P55
⑤ クラウドへのログイン／ログアウト
⑥ 名前
タップして個人情報画面に情報を表示します。サムネイル画像をタップすると、SMS送信やメール送信などができます。
⑦ インデックス
文字を選択して連絡先を検索できます。
⑧ 検索
⑨ メニュー
⑩ 編集
⑪ お気に入り
タップすると連絡先のグループ「お気に入り」に登録されます。
⑫ 個人情報画面
選択した相手の個人情報を表示します。項目をタップしてメール送信などができます。
⑬ 連絡先の新規登録

✔お知らせ

- 「お気に入り」に登録した連絡先を表示するには、連絡先画面で［グループ］→［お気に入り］をタップします。

◆ 連絡先を登録

1 連絡先画面で[登録]→各項目を設定→[登録完了]

- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。

・Googleアカウントを登録している場合は、アカウント欄の［設定］をタップしてGoogleアカウントを選択できます。

◆連絡先の編集

1 連絡先画面で編集したい連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]

◆連絡先の削除

1 連絡先画面で削除する連絡先を選択→⋮→[1件削除]→[OK]

・連絡先画面で⋮→［選択削除］をタップすると、連絡先を選択して削除できます。［全選択］をタップすると、全件削除できます。

◆グループの利用

1 連絡先画面で[グループ]

2 グループリスト最下部の[グループ追加]→各項目を設定→[OK]

グループの並べ替え：［並べ替え］→グループをタップして上下にスライド→［決定］
グループの編集：グループリストでグループをロングタッチ→［グループ編集］→各項目を設定→［OK］
グループの削除：グループリストでグループをロングタッチ→［グループ削除］→［OK］

✔お知らせ

・docomoアカウントのグループのみ並べ替えができます。

❖連絡先のグループ登録

1 連絡先画面で[グループ]

2 グループを選択→[編集]→[メンバー追加]→追加する連絡先にチェック→[決定]→[OK]

グループ登録の解除：グループを選択→［編集］→［メンバー削除］→削除する連絡先にチェック→［決定］→［OK］

✔お知らせ

・グループ登録は、docomoアカウントやGoogleアカウントなどで作成された連絡先で設定できます。

◆タイムライン

SNS・ブログのつぶやきやメッセージなどが表示されます。
※クラウドへのログインおよびマイSNS機能の設定が必要です。

1 ホーム画面で→

表示項目の変更：［表示項目］→表示する項目にチェック→［OK］

◆連絡先のインポート／エクスポート

1 連絡先画面で→[その他]→[インポート／エクスポート]→項目を選択→それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。
SDカードからインポート：指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。
SDカードにエクスポート：「マイプロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードに保存します。
表示可能な電話帳を共有：連絡先データを全件送信するためにBluetooth通信やメールなどのアプリを起動します。
※アプリによっては対応していない場合もあります。

✔お知らせ

- 本端末からｉモード端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。
- ドコモバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータをmicroSDカードなどに、一括でバックアップ／復元することができます。→P98

◆マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集できます。

1 ホーム画面で

2 [マイプロフィール]→[編集]→各項目を設定→[登録完了]

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。
また、送受信したメールがドコモメールサーバーに保存されるため、端末紛失や機種変更時にも簡単にメールが移行できます。さらにdocomo IDを利用すれば、パソコンやタブレットなどでメールが利用できます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で
以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

◆ SMSを作成して送信

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 [新規作成]→携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末からSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせることはできません。
- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。

• 本端末のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。→P71、P123

◆送受信したSMSの表示

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

• →［連絡帳アプリに追加］をタップして連絡先に登録することができます。

◆SMSに返信

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆SMSを転送

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

3 携帯電話番号を入力→[送信]

◆SMSを削除

1 ホーム画面で→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✔お知らせ

• メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→［削除］→［削除］をタップします。
• すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で→［すべてのスレッドを削除］→［削除］をタップします。

◆SMSの設定

1 ホーム画面で→[メッセージ]→→[設定]

2 各項目を設定

SMSの有効化：タップしてデフォルトのSMSアプリを設定できます。→P109
古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。
テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。
受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。
SIMカードのメッセージ：ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。
メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。
• 通常は設定を行う必要はありません。
通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの色を設定します。

✔お知らせ

- SMSの設定画面で⋮→［初期設定に戻す］をタップすると、初期状態の設定に戻ります。

Eメール

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で⋯→[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で⋮→［設定］→［アカウントを追加］をタップして操作します。

◆Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で⋯→[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2 [作成]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、［CC／BCCを追加］をタップします。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成します]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、📎をタップまたは⋮→［ファイルを添付］をタップします。

5 [送信]

✔お知らせ

- メールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定します。→P59
- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で→[メール]
- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。
［統合ビュー］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在して表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 →[更新]
受信トレイを更新します。
- 「統合ビュー」を利用している場合は、各メールアカウントの表示に戻して→［更新］をタップします。

3 Eメールを選択

✔お知らせ
- アカウントの設定で同期頻度とメール着信通知（→P61）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、Eメールが表示されます。

◆Eメールに返信

1 Eメールを表示

2
- 全員に返信する場合はをタップします。

3 メッセージを入力→[送信]

◆Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 →(転送)

3 メールアドレス／メッセージを入力→[送信]

◆Eメールを削除

1 Eメール一覧を表示

2 メールをロングタッチ→[削除]

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

1 ホーム画面で→[メール]

2 →[設定]→[全般設定]

3 各項目を設定

削除前に確認する：削除前に確認画面を表示します。
送信前に確認する：送信前に確認画面を表示します。
自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
送信者の画像：スレッドリストの名前の横に画像を表示します。
全員に返信：メールを返信する際に毎回宛先の全員に返信します。

スワイプして削除：スレッドリスト内のメールをスワイプして削除します。
画像の許可の取り消し：以前許可した送信者からのインライン画像の表示を［消去］をタップして停止します。

❖Eメールのアカウント設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

1 ホーム画面で→[メール]

2 →[設定]→アカウントを選択

3 各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。
同期頻度：受信トレイの同期頻度を設定します。同期頻度の間隔を短く設定すると電池の消費が早くなります。
メールを同期する日数：メールを同期する日数を設定します。
カレンダーを同期する日数：カレンダーを同期する日数を設定します。
メールを同期する：メールを同期するかを設定します。
連絡先を同期：連絡先を同期するかを設定します。
カレンダーを同期：カレンダーを同期するかを設定します。
添付ファイルのダウンロード：Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
ローミング時の自動同期を許可：国際ローミング中に自動で同期するかを設定します。ポリシーによっては変更できないことがあります。
メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：Eメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
受信設定：受信サーバーについて設定します。
送信設定：送信サーバーについて設定します。

✔お知らせ

- Eメールのアカウントを削除するには、「アカウントの削除」をご覧ください。→P138

❖Eメールのバックアップ／復元

1 ホーム画面で→[メール]

2 →[設定]→[バックアップ／復元]

3 [microSDへバックアップ]／[本体へ復元]

4 [開始]→[OK]

Gmail

Gmailは、Googleのオンライン Eメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Gmailの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailの表示

1 ホーム画面で→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

- Gmailの詳細については、Gmailの受信トレイ画面で→［ヘルプ］をご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、Androidバージョンアップ中（ダウンロード中を除く）、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリの空き容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- 初期状態ではマナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P63

◆受信したエリアメールの表示

1 **ホーム画面で→[災害用キット]**

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を読み、[同意して利用する]をタップします。
- 「ご利用にあたって」画面と「災害用キット」画面は、縦画面で表示されます。

2 **[緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択**

◆エリアメールの削除

1 **ホーム画面で→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]**

2 **エリアメールにチェック→[削除]→[OK]**

- すべてを選択するには[すべて選択]をタップします。

◆緊急速報「エリアメール」設定

1 **ホーム画面で→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]**

2 **→[設定]**

3 **各項目を設定**

受信設定：エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。
受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。
その他の設定：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。
本端末には、Android標準の「ブラウザ」と「かんたんインターネット」（→P67）の2種類のブラウザがあります。
- 他に「Chrome」を搭載しています。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。
- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。現在表示しているWebページの拡縮率を、Webページを移動したときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P34）して見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で

ホームページに設定しているWebページが表示されます。
- 画面を下方向にスライドするとWebページ上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいブラウザウィンドウを開く

複数のブラウザウィンドウを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に

新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページに設定しているWebページが表示されます。
切り替え：タブを選択
閉じる：タブの

✔お知らせ

- Webサイト表示中に→［新しいタブ］をタップしても新しいブラウザウィンドウを開きます。

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に→[新しいシークレットタブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中はタブにが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、タブのをタップします。

✔お知らせ

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライド→Webページ上部の

2 [履歴]→履歴の種別を選択

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、[よく使用]をタップします。

3 Webサイトの履歴を選択

◆ Webページを保存して表示

表示中のWebページを保存してオフラインで表示します。

❖Webページの保存

1 Webサイト表示中に→[オフラインで読めるよう保存]

❖保存したWebページの表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライド→Webページ上部の

2 [保存したページ]

3 保存したページを選択

- 保存したページを表示中は画面上部にが表示されます。

削除：保存したページをロングタッチ→[保存したページを削除]

◆ ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライド→Webページ上部の

ブックマークの詳細情報が表示され、ラベル名、アカウント（保存先）、追加先などを変更できます。

2 [OK]

✔お知らせ

- Android4.4ではGoogleアカウントのブックマークは同期されません。

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライド→Webページ上部の

2 ブックマークを選択

編集：ブックマーク画像をロングタッチ→［編集］→各項目を設定→［OK］

削除：ブックマーク画像をロングタッチ→［削除］→［OK］

◆Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

- リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクの保存やURLのコピーなどができます。

URLの場合：Webサイトを開きます。
電子メールアドレスの場合：メールを作成します。
ファイルの場合：ファイルを閲覧／保存します。

✔お知らせ

- 電話番号のリンクの場合は、ロングタッチすると電話番号を連絡先に追加、コピーできます。
- 保存したファイルは、Document Viewerなどで確認できます。

◆Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]

- 保存した画像は、ギャラリー（→P90）などで確認できます。

◆Webサイトの語句を辞書検索

Webサイトに表示されている語句を辞書で検索することができます。

- ブラウザの設定の「全般」（→P67）で、［すぐ辞書を表示する］を設定して利用します。

1 Webサイト表示中にテキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 表示された吹き出しをタップ

検索結果一覧が表示されます。

- 該当する語句が辞書にないときは、吹き出しは表示されません。

3 候補一覧から調べたい語句をタップ

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタやクラウドプリント機能を利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P147

1 Webサイト表示中に⋮→[印刷]

- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P149

◆ ブラウザの設定

1 Webサイト表示中に⋮→[設定]

2 各項目を設定

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、自動入力テキスト、辞書検索について設定します。

プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報、パスワードについて設定します。

ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、画面の反転レンダリングについて設定します。

- [コントラスト]は[反転レンダリング]にチェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、プラグインの設定、ウェブサイト設定、ページコンテンツ、初期設定リセットについて設定します。

- ページコンテンツの[ページの自動調整]にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
  テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理：検索結果やウェブページのプリロード、画像の読み込みについて設定します。

Labs：クイックコントロールについて設定します。

かんたんインターネット

わかりやすく使いやすい操作で、Webサイトを閲覧できます。

◆ かんたんインターネットでWebサイト表示中の画面操作

画面上部に表示されるボタンで操作します。

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：拡大で拡大し、縮小で縮小します。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P34）して見たい部分を表示します。

■ Webページを戻る／進む

前に表示していたWebページに←戻る →進むで移動します。

■ ホームページに戻る

ホームでホームページに移動します。

◆かんたんインターネットを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で→[かんたんインターネット]

2 [検索]

3 検索キーワード入力エリアにURL／キーワードを入力

4 [実行]／候補を選択／

再読み込み：Webサイト表示中に［メニュー］→［再読み込みする］

URLなどを表示：Webサイト表示中に［メニュー］→［URLなどを表示する］→［OK］

URL入力して接続：Webサイト表示中に［メニュー］→［URLを入力して接続］→URLを入力→［接続］

ダウンロード履歴を見る：Webサイト表示中に［メニュー］→［ダウンロード履歴］

✔お知らせ

- 検索サービスを変更することができます。→P69
- Webサイトに表示されているリンクの操作については、「Webサイトのリンク操作」をご覧ください。→P66

◆かんたんインターネットでブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークに登録]→[OK]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークを見る]

2 ブックマークを選択

題名を変更：［メニュー］→［題名を変更する］→ブックマークを選択→題名を変更→［完了］→［OK］

削除：［メニュー］→［削除する］→ブックマークにチェック→［削除する］→［削除する］→［OK］

並び順の変更：［メニュー］→［並び順を変更する］→項目を選択

URL表示：［メニュー］→［URLを表示する］→ブックマークを選択→［OK］

表示方法の切り替え：［メニュー］→［表示方法を切り替える］

◆かんたんインターネットの履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[閲覧履歴を見る]

2 履歴を選択→[接続する]

ブックマークに登録：[メニュー]→[ブックマークに登録]→履歴を選択→[OK]
削除：[メニュー]→[削除する]→履歴にチェック→[削除する]→[削除する]→[OK]
URL表示：[メニュー]→[URLを表示する]→履歴を選択→[OK]
URLコピー：[メニュー]→[URLをコピーする]→履歴を選択→[OK]

◆かんたんインターネットの設定

1 Webサイト表示中に[メニュー]→[インターネットを設定する]

2 各項目を設定

文字の大きさ：文字の大きさを設定します。
ホームページの設定：ホームページの設定方法を［直接入力］／［現在のページを使用］／［初期状態に戻す］から選択して設定します。
詳細設定：フォームデータ保存、パスワード保存、Cookie、JavaScriptの設定、位置情報、検索サービスの選択、設定を初期状態に戻すかどうかについて設定します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って利用するアプリを選択してください。

✔お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。
- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Playストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆アプリをインストール

1 ホーム画面で[Playストア]

Google Playの画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール](無料アプリの場合)／[金額](有料アプリの場合)

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で［同意する］をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。有料アプリの場合、支払方法を設定していないときは［次へ］をタップして支払方法を設定し、最後に［同意する］をタップします。
- 有料アプリの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。
  アプリの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリにつき1回のみ有効）。アプリ購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、ヘルプをご覧ください。→P72

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに が表示されます。

✔お知らせ

- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助アプリは、ユーザー補助から有効にすることができます。→P139

◆Google Playのアプリの削除

1 Google Play画面で[Playストア]→[マイアプリ]

2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- 有料アプリで［払い戻し］が表示されない場合、試用期間が終了しています。

◆ Google Playのヘルプ

1 Google Play画面で[Playストア]→[ヘルプ]

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。サイトや読み取り機から取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

✔お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  更新、トルカの共有、地図表示※
  ※ トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- [重複チェック設定]にチェックを付けている場合、保存済みトルカと同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、チェックを外してください。ただし、サイトからの取得は除きます。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどをいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、本端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

- モバキャスの詳細については、モバキャス放送局（NOTTV）のホームページをご覧ください。
  NOTTV　http://www.nottv.jp/

■ モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局（NOTTV）との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムや録画のご利用にはmicroSDカードまたは本体メモリの容量が必要です。Class4以上のmicroSDカードのご利用をおすすめします（設定でストレージ選択が可能です）。
- モバキャスをテレビに表示するMHL接続については、「MHL接続でテレビに表示」をご覧ください。→P152

■ 放送電波・受信エリアについて

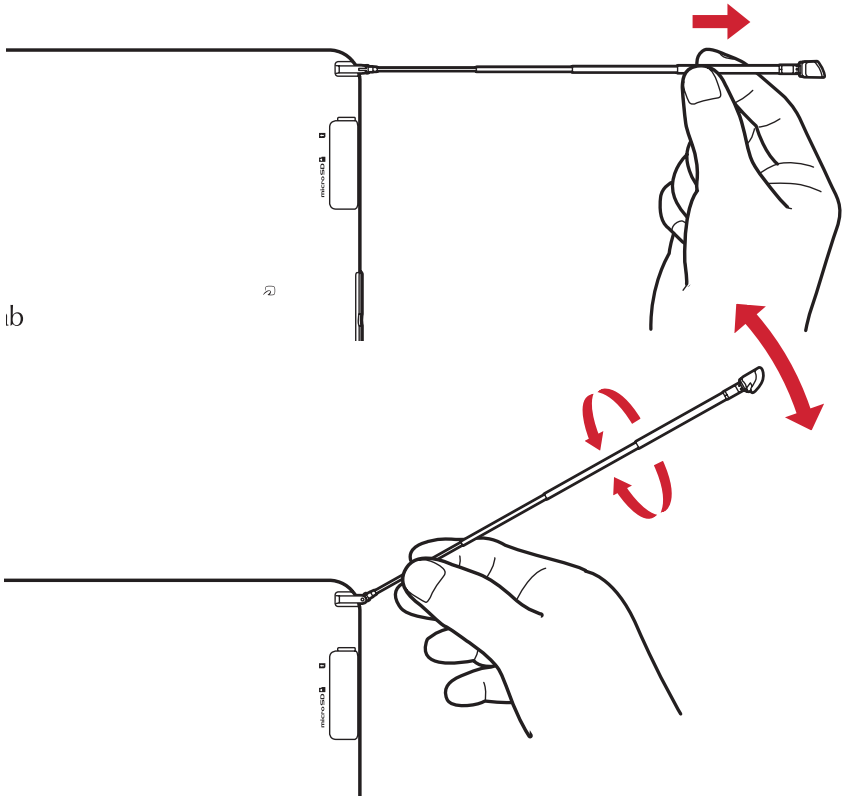
モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービス、フルセグ／ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

- モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
  - 放送電波が送信される基地局から離れている場所
  - 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
  - トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- TVアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。
- MHL接続でテレビに表示した場合に、モバキャス放送エリア内であっても、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

■ TVアンテナについて

モバキャスやテレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TVアンテナが放送電波を受信します。

- TVアンテナを引き出すときは、最後までしっかり引き出してください。
- TVアンテナの方向を変えるときは、TVアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。



- TVアンテナを収納するときは、TVアンテナの根元を持って止まるまで入れます。TVアンテナの先端を持って収納しないでください。

◆ モバキャス視聴

❖番組／コンテンツの視聴

1 ホーム画面で[NOTTV]

NOTTVのホーム画面が表示されます。

- 初回起動時は、初期設定が行われます。アプリ使用許諾契約書の内容を確認して［スタート］をタップしてください。
- 初期設定は通信環境の良いところで実施してください。

2 番組／コンテンツのサムネイルをタップ

- リアルタイム視聴時は、画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
- 全画面を表示するには、視聴画面をタップ→［操作］→全画面表示ボタンをタップします。
- 音量キーを押して音量を調節できます。
- →［設定］をタップして、字幕や音声などの設定を行うことができます。
- 画面下の次の各ボタンで表示内容を切り替えることができます。

ホーム：ホーム画面に戻ります。
データ：縦画面でのみ表示され、データ放送を表示します。
ソーシャル：番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。
インフォ：縦画面でのみ表示され、番組の詳細を表示します。
番組表：番組表を表示します。

✔お知らせ

- コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります。
- ［動画補正］にチェックを付けると、動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P119
- モバキャス視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットや画面のキャプチャは実行できません。

◆ 番組／コンテンツの検索

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

❖番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で[番組表]

リアルタイム番組表が表示されます。

- ［シフトタイム］をタップしてシフトタイムの番組表を表示できます。

2 番組をタップ

現在放送中の番組を選択すると、番組の視聴画面に切り替わります。

❖条件を指定して検索

1 NOTTVのホーム画面で→[検索・ジャンル別]

2 キーワードを入力して検索、またはジャンル別で探したいものをタップ

3 番組／コンテンツをタップ

◆番組／コンテンツの予約

❖シフトタイムの受信予約

1 NOTTVのホーム画面で[番組表]

2 [シフトタイム]
今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。

3 番組／コンテンツをタップ
番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。

4 [予約する]

✔お知らせ

- 番組／コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカード・本体メモリの空き容量不足などの場合は、番組／コンテンツが受信できない場合があります。
- microSDカードまたは本体メモリに一時保存された番組／コンテンツは、ご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的にmicroSDカードまたは本体メモリから削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります（自動予約）。
- 自動予約は設定で解除できます。
- 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります（自動補完）。
- 自動補完は設定で解除できます。

❖リアルタイムの視聴・録画予約

1 NOTTVのホーム画面で[番組表]

2 番組をタップ
番組の詳細画面が表示されます。

3 [視聴予約する]／[録画予約する]
- 放送中の番組では、視聴画面をタップ→［操作］をタップして録画ボタンが表示された場合は手動で録画することもできます。

✔お知らせ

- 番組の放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、microSDカード未挿入、microSDカード・本体メモリの空き容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できない場合があります。
- microSDカードまたは本体メモリに録画された番組はご利用中の端末でのみ視聴できます。
- 番組によっては録画できない場合があります。

◆ モバキャスの設定

1 NOTTVのホーム画面で→[設定]

2 各項目を設定

音声・字幕

音声切替：音声言語と主音声・副音声について設定します。

字幕表示切替：字幕表示について設定します。

バックグラウンド再生：アプリの画面を閉じた後もバックグラウンドで再生を継続するかどうかを設定します。

シフトタイム

自動予約：おすすめのシフトタイムを自動で予約します。

自動補完：放送で受信できなかったデータを通信で自動的に補完します。

番組表

番組表情報自動取得：番組表／コンテンツリストの情報を自動取得する時間を設定します。

ステータスバー

放送中番組の表示：放送中の番組情報をステータスバーに表示します。

新着情報の通知：シフトタイム／録画の新着をステータスバーに表示します。

お知らせ情報の通知：NOTTVからのお知らせをステータスバーに表示します。

ペアレンタルコントロール

視聴年齢制限：視聴年齢制限のある番組を視聴できないように設定します。

年齢設定：視聴制限の年齢を設定します。

パスワード変更：視聴年齢制限や年齢設定を設定するためのパスワードを変更します。

ソーシャル

Twitter連携解除：Twitterとの連携を解除するかどうかを設定します。

詳細設定

重複録画防止：シリーズ・キーワード予約を行う際、同じ番組の録画を防止します。

重複録画削除サポート：録画番組一覧からの削除時、同一番組が重複して録画されていないかチェックします。

ロック画面通知：録画の開始時に通知を行います。

ストレージ選択：シフトタイムの番組／コンテンツの一時保存先や録画データの保存先を［本体］／［SDカード］から選択できます。保存先を変更した場合は、データの移行処理が行われます。

ログ送信：アプリ利用に関するログを自動的にサーバーへ送付します。

文字スーパー：地震速報などの文字スーパー表示を行います。

ブラウザ

Cookie：Cookieの保存を許可するかを設定します。

Cookieを削除：保存されているCookieを削除します。

放送用保存領域消去：放送受信データの保存領域を消去します。

データ放送表示：視聴画面のデータ放送領域を表示するかを設定します。

再読込：動画以外のデータ情報（番組の詳細情報など）が含まれているシフトタイムコンテンツの再生時に、コンテンツを再読込します。

文字コード変換：動画以外のデータ情報（番組の詳細情報など）が含まれているシフトタイムコンテンツの再生時に、文字コードをJISやUTF-8などに変換します。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

- 「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
  一般社団法人　デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/

◆ フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

- フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆ 放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

TVアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。→P73

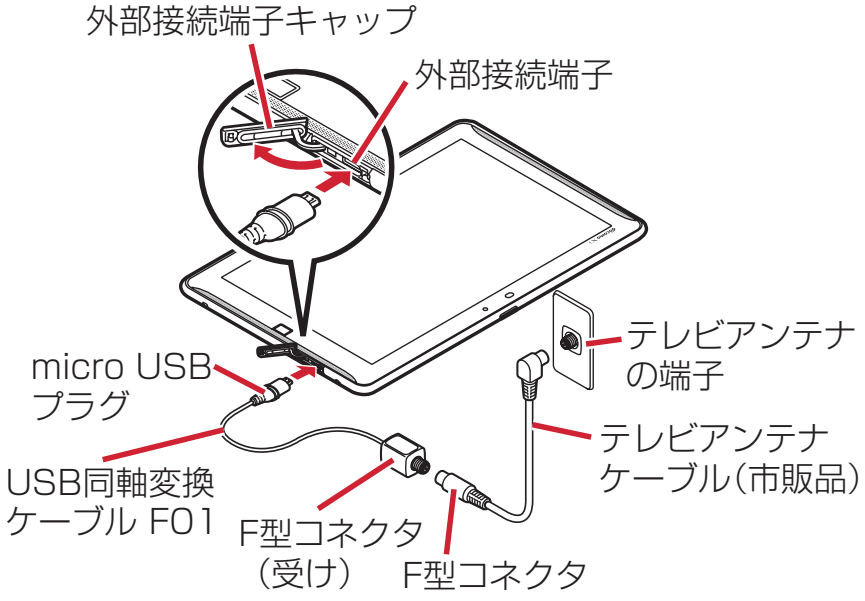
■ USB同軸変換ケーブル F01の利用

フルセグを視聴・録画する場合、USB同軸変換ケーブル F01（付属品）とテレビアンテナケーブル（F型接栓ケーブル）（市販品）を使用して、本端末と地上デジタル放送用アンテナを接続すると、安定した電波の受信状態でフルセグを視聴・録画することができます。

- あらかじめテレビアンテナケーブル（F型接栓ケーブル）（市販品）をご用意ください。
- USB同軸変換ケーブルを接続する前に、視聴画面で →［設定］→［外部アンテナ利用］をタップして、チェックを付けて設定をオンにしてください。視聴後、USB同軸変換ケーブルを利用しない場合は設定のチェックを外してオフにし、ケーブルを取り外してください。

〈USB同軸変換ケーブル F01の接続のしかた〉

① 本端末の外部接続端子キャップを開く→P22
② microUSBプラグを本端末の外部接続端子にまっすぐ水平に差し込む
③ USB同軸変換ケーブルのF型コネクタ（受け）にテレビアンテナケーブルのF型コネクタをしっかり差し込む
④ テレビアンテナケーブルのもう一方のコネクタをテレビアンテナの端子に差し込む



◆ テレビの起動

1 ホーム画面で［テレビ］

テレビの視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、使用許諾を読んで［同意する］をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P83
- 「ご利用にあたって」画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。
- 初期状態のフルセグ／ワンセグの視聴モードは、［自動切替］に設定されています。テレビ視聴画面の［ワンセグ］／［自動切替］／［フルセグ］を選択して視聴モードを切り替えることができます。視聴中の視聴モードは、ステータスバーに表示される（白：ワンセグ）／（青：フルセグ）のアイコンで確認できます。［自動切替］に設定中は、電波受信状況によりフルセグ／ワンセグが自動的に切り替わります。
- ［動画補正］にチェックを付けると、ワンセグ視聴時に動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P119

✔お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したりしたときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。

- 「バックグラウンド再生」をオンに設定していると、テレビを視聴時に、ホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合などには、バックグラウンド再生によりテレビの音声出力が続きます。バックグラウンド再生を終了するにはテレビ視聴画面に戻り、を2回タップするか、→［テレビ終了］をタップしてテレビを終了してください。また、バックグラウンド再生は連続2時間で終了します。
- テレビの視聴画面はコピー禁止のデータであるため、スクリーンショットや画面キャプチャは実行できません。

❖テレビ視聴画面について

① テレビ映像エリア
- 左右にスライドしてチャンネルの切り替え

② 字幕表示エリア

③ 番組名、チャンネル、放送局
- タップして番組内容の表示

④ ワンセグ／自動切替／フルセグの切り替え

⑤ チャンネル切り替え
- ロングタッチして、チャンネルサーチを開始できます。
  未登録の放送局が見つかったときは、→［チャンネル設定］→［チャンネル個別登録］→空きチャンネルをタップすると、チャンネルリストに追加できます。

⑥ コントロールバー
- アイコンをタップ（青く表示）して操作パネルエリアの表示を切り替えます。左からd（データ放送）、CH（チャンネル一覧）、（番組表）、（Webブラウザー）を表示します。

⑦ 操作パネルエリア
- 表示内容はコントロールバーの各アイコンをタップすると切り替わります。
- 全画面表示では表示されません。
- ワンセグ視聴時にdをタップしてデータ放送を表示すると、操作パネル下部に表示される操作ボタンでデータ放送内のカーソル位置を移動できます。

⑧ 音量調節バー
- 左右にドラッグして音量調節できます。
- 音量調節バー左のをタップすると消音できます。

⑨ 全画面表示切替ボタン
- 全画面表示で画面をタップすると、チャンネル切替や音量調節などの操作画面を表示／非表示することができます。

⑩ 録画ボタン
→P81

■ テレビ視聴中の操作

音量キー：音量調節
音量キー（1秒以上）：チャンネルの切替
：メニューを表示

◆テレビの終了

1 テレビ視聴画面で→[テレビ終了]

◆テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖テレビリンクの表示

1 テレビ視聴画面で→[TVリンク]→テレビリンクを選択→[接続]

登録されたサイトに接続します。

❖テレビリンクの削除

1 テレビ視聴画面で→[TVリンク]

2 テレビリンクを選択(ロングタッチ)→→[OK]

テレビリンクをすべて削除：テレビリンクをロングタッチ→→［すべて選択］→→［OK］

テレビリンクを選択削除：テレビリンクをロングタッチ→削除するテレビリンクをタップして複数選択→→［OK］

◆ブラウザの利用

テレビを視聴しながらブラウザを起動できます。

1 テレビ視聴画面で

操作パネルエリアにブラウザ画面が表示されます。

✔お知らせ

- テレビを視聴しながらのブラウザでは、一部機能が動作しない場合があります。

◆視聴予約／録画予約

テレビ番組の録画や視聴の予約ができます。

1 テレビ視聴画面で→[予約一覧]

予約一覧が表示されます。

2 [＋]→[番組表から予約]／[手動で予約]

3 各項目を設定→[完了]

✔お知らせ

- 録画予約した時刻が近づくと、ステータスバーにと録画予約の予告通知が表示され、アラーム設定で設定した時間に従って、アラーム音や振動でお知らせします。→P82
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。

• 手動で録画を行っている際に別の録画予約の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して録画予約を開始します。

❖予約内容の確認

1 テレビ視聴画面で→[予約一覧]

予約一覧が表示されます。

2 予約項目をタップ

✔お知らせ

• 予約一覧画面で予約をロングタッチすると、編集（）／削除（）を操作できます。

❖録画予約結果の確認

1 テレビ視聴画面で→[予約一覧]→→[録画予約結果]

予約結果一覧が表示されます。

2 予約結果項目をタップ

予約結果の詳細が表示されます。

• 予約結果をロングタッチ→→［OK］をタップすると予約結果を1件削除できます。また、→［すべて選択］→→［OK］をタップすると予約結果を全件削除できます。

◆番組の録画

テレビ視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

• フルセグ録画中にワンセグ視聴に切り替わっても、録画はワンセグに切り替わりません。ワンセグ録画中にフルセグに切り替わった場合も同様です。
• ワンセグとフルセグの録画最大件数は、それぞれ99件までです。

1 テレビ視聴画面で（録画）を左にスライドして録画を開始

• テレビ視聴画面→P79

2 （録画）を右にスライドして録画を終了

✔お知らせ

• あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。
• 録画を開始するには電池残量が20%以上、microSDカードの空き容量がフルセグの場合は150MB以上、ワンセグの場合は10MB以上必要です。
• 録画中に次の状態になると録画が自動で停止します。
  - microSDカードの空き容量がフルセグの場合は5MB以下、ワンセグの場合は2MB以下
  - 電池残量が10%未満
  - 録画開始から6時間経過
• 本端末で録画したフルセグ番組は、ご利用の端末でのみ再生できます。
• microSDHCカードに録画した番組を再生すると、映像や音声が途切れることがあります。録画する際は、microSDXCカードのご利用をおすすめします（http://www.fmworld.net/product/phone/microsdxc/）。

- 設定の「長時間モード」がオンの場合、フルセグでの視聴／録画ができません。フルセグ録画の予約を行う場合は、録画が開始されるまでに「長時間モード」をオフにしてください。
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 録画時間が極端に短い（10秒未満）場合は、録画停止できません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中は、チャンネル切り替えはできません。
- 録画とMTP転送など、負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

❖録画番組の再生

1 テレビ視聴画面で→[録画一覧]

録画一覧が表示されます。

2 データを選択

- 録画一覧でフルセグ録画されたデータには、HDが表示されます。
- 全画面表示の再生画面をタップすると、再生コントローラーが表示されます。
（左から）
：5秒戻し
：早戻し（タップするごとに2倍早戻し／10倍早戻しに切り替え）
／：一時停止／再生
：早送り（ワンセグの場合はタップするごとに1.5倍速再生／2倍早送り／10倍早送りに切り替え、フルセグの場合はタップするごとに2倍早送り／10倍早送りに切り替え）
：15秒送り
- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。
- 音量キー：音量調節

✔お知らせ

- 録画一覧画面で、録画データをロングタッチ→をタップすると、録画番組詳細の表示、タイトル名の変更、データの保護／解除ができます。
- 録画データをロングタッチ→→［OK］をタップするとデータを1件削除できます。また、録画データをロングタッチ→→［すべて選択］→→［OK］をタップすると全件削除できます。

◆テレビの各種設定

1 テレビ視聴画面で→[設定]

2 各項目を設定

文字スーパー設定：フルセグの文字スーパーの表示／非表示を設定します。
データ放送設定：データ放送の設定をします。
アラーム設定：予約した番組の開始時に音やバイブでお知らせします。
オフタイマー設定：テレビをオフにするまでの時間を設定します。

なめらかモード：映像をなめらかにします。［なめらかモード］にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。
長時間モード：バッテリー消費を抑え、ワンセグを長時間視聴できるように設定します（長時間モードでの視聴・録画はワンセグのみとなります）。
- イベント会場など特定エリアで放送されているエリアワンセグを視聴する場合は、長時間モードに設定してください。

外部アンテナ利用：放送波の受信アンテナを外部アンテナ（USB同軸変換ケーブル）に切り替えて受信します。
- テレビ終了後も設定は保持されます。

バックグラウンド再生：ホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合でも、テレビの音声出力を継続します。
再生情報表示：録画番組の再生時に再生情報を表示します。
Webブラウザー設定：アプリ内のWebブラウザーでキャッシュしたすべてのコンテンツを削除します。
CAS情報の初期化：フルセグの受信で記録された情報を初期化します。
製品情報：アプリのバージョンを表示します。

❖映像／音声／字幕の設定

1 テレビ視聴画面で→［映像／音声／字幕］

2 各項目を設定

音声多重切替：［主音声］／［副音声］／［主＋副音声］から、どの音声で聞くかを設定します。
字幕切替：字幕の表示を、［表示しない］／［字幕1］／［字幕2］から選択します。

◆チャンネル設定

❖チャンネルリストの作成

1 テレビ視聴画面で→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト編集］→［新規作成］

2 ［地域を選択してスキャン］／［受信チャンネルをスキャン］／［CATVを含む全帯域の受信チャンネルをスキャン］

地域を選択してスキャン：地域ごとに割り当てられているチャンネルに加え、現在地で受信可能な放送局をスキャンしてチャンネルリストを作成します。
受信チャンネルをスキャン：現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。
CATVを含む全帯域の受信チャンネルをスキャン：USB同軸変換ケーブル F01で接続している場合に選択し、CATVを含む全チャンネルをスキャンします。

3 ［保存］

✔お知らせ

- ケーブルテレビの自主放送は視聴できないことがあります。本端末は、コンテンツ権利保護のための仕組みとして「コンテンツ権利保護専用方式（ソフトウェア方式）」を採用しています。このため、ケーブルテレビの自主放送においてソフトウェア方式を採用していない場合は視聴できません。

❖チャンネルリストの切り替え

1 テレビ視聴画面で→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト切替]→チャンネルリストを選択

❖チャンネルリストの削除

1 テレビ視聴画面で→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストをロングタッチ→→[OK]

❖チャンネルボタンの割り当てを変更

1 テレビ視聴画面で→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択→変更するチャンネルをタップ

3 入れ替える放送局名をタップ→[保存]

◆地デジ番組を再生する

ご家庭のHDDレコーダーなど他の機器でmicroSDカードに書き込んだ地デジ番組をVGAクラスの画質で再生することができます（地デジ持ち出し機能）。

- 書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードを本端末に取り付ける

3 テレビ視聴画面で→[録画一覧]

4 地デジ番組を選択
- 再生画面をタップすると、再生コントローラーを表示して、再生・一時停止・早送り・早戻しなどを操作できます。

✔お知らせ

- 地デジ番組をmicroSDカードに書き込むときは、SDメモリカード変換アダプタ（別売品）などを使用して行ってください。

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモのキャプチャ音は鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないと、カメラは終了します。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① シャッターボタン

② メニューアイコン

- 動画録画中はここに静止画撮影ボタン（）が表示され、録画中の静止画撮影ができます。

③ 位置情報アイコン

- 位置情報を付加するように設定しているときに表示されます。→P88

④ 録画開始ボタン

✔お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［いいえ］／［切り替え］をタップします。

◆静止画撮影

1 ホーム画面で→［カメラ］

2 撮影画面に被写体を表示→

シャッター音が鳴り、写真が撮影されます。

- 音量キーの上を押しても、静止画を撮影できます。

■静止画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：［MENU］→［カメラ切替］

撮影した静止画の表示：画面を左へフリック

❖静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

■ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■ 自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。顔が検出された場合は、顔の明るさで固定されます。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ パノラマ撮影

カメラを左右にゆっくりと動かすことで、パノラマ写真を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で→[カメラ]

2 [MENU]→[パノラマ]

パノラマ撮影画面に切り替わります。

3 カメラを被写体に向ける

4 (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの上を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影時にカメラを動かす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

5 完了(完了)

撮影停止音が鳴り、撮影が終了してパノラマ画像が保存されます。

- 音量キーの上を押しても、撮影を停止できます。
- シャッターボタンをタップしないで撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で→[カメラ]

2 [MENU]→[動画]

3 撮影画面に被写体を表示→(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの上を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 (停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

- 音量キーの上を押しても、撮影を停止できます。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に画面に表示される静止画撮影ボタンをタップ

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：[MENU]→[カメラ切替]

撮影した動画の再生：画面を左へフリック

◆撮影時の設定変更

撮影画面に表示されている［MENU］をタップして、撮影時の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- ホーム画面、アプリ一覧画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

❖静止画撮影時の設定変更

■ 撮影モード

静止画／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ 位置情報

撮影した画像に位置情報を付加するかどうかを設定します。

- 位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中（未取得）は、取得すると のアイコンが撮影画面に表示されます。

■ 保存先

撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

■ グリッド表示

写真の構図を決める縦横3分割の補助線（グリッド）の表示を設定します。

❖動画撮影時の設定変更

■ 撮影モード

静止画／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 保存先

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で→[カメラ]

2 [MENU]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読取結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

QRコード撮影画面を閉じる：[戻る]

- QRコード撮影画面を開く前の撮影モードに戻ります。

4 読み取りデータを確認

データの保存：読取結果画面で→[履歴を保存]→履歴欄をタップ

履歴の表示：QRコード撮影画面で→[履歴]→履歴を選択

❖QRコードデータの主な利用

読取結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：→[電話帳一括登録]→電話帳に登録

メールの作成：メールアドレスを選択→アプリを選択→メールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録：→[ブックマークに登録]

ギャラリー

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。
  静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
  動画：H.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8
  ※ GIFアニメーションは再生できません。

◆ 画像の表示／再生

1 ホーム画面で→[ギャラリー]

2 アルバムを選択

- 動画は▶が表示されます。
- 画面上部の［グリッド表示］／［フィルムストリップ表示］をタップして表示を切り替えます。

3 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 動画は▶をタップして再生します。音量キーで音量を調節、表示されるアイコンやスライダーで再生／一時停止、早戻し／早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

：保存先が本端末の内蔵メモリ
：保存先がmicroSDカード
：カメラの起動
※1／：アルバム／画像の削除
※1／：アルバム／画像の送付、アップロード、共有などの操作
：静止画の補正や編集などの操作
：［スライドショー］／［編集］／［左に回転］／［右に回転］／［切り抜き］／［登録］／［移動／コピー］※2／［詳細情報］／［地図に表示］／［印刷］（→P149）などの操作

- 表示中の画面や操作状態により、表示される項目は異なります。

※1 アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチすると表示されます。
※2 ファイルによっては移動／コピーできない場合があります。

❖ 画像を分類して表示

- アルバム一覧で［アルバム］をタップすると、画像を［アルバム］／［ロケーション］／［時間］別に分類して表示を切り替えます。
- Googleアカウントを設定して本端末と同期すると、Picasaを利用している場合はPicasaのアルバムが表示されます。Picasaのアルバムを選択して、［アルバム］をタップすると［アルバム］／［ロケーション］／［時間］／［タグ］別に分類して表示を切り替えます。

❖アルバム／画像の選択操作

- アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチすると、画面左上にチェックが表示され、アルバム／画像に水色の枠とチェックが表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- アルバム／画像が選択状態のときは、画面左上のチェックの右側に選択件数が表示されます。選択件数をタップすると、［すべて選択］／［選択をすべて解除］の操作ができます。

✔お知らせ

- アルバム一覧で→［設定］→［明るさアップ］にチェックを付けると、画像を明るく表示できます。

❖テレビ表示中のリモコン操作

MHL接続でテレビに表示中はテレビのリモコンを使って操作できます。

- リモコンのボタンに対応する基本的な操作は次のとおりです。接続するテレビによっては、操作が異なる場合があります。

「決定」ボタン：選択
「←／→／↑／↓」ボタン：スライド／フリック
「ホーム」ボタン：ナビゲーションバーのホームアイコン
「戻る」ボタン：ナビゲーションバーのバックアイコン

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画の再生、dマーケットなどからダウンロードした音楽／動画コンテンツを再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI、WMAです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- MIDI形式および着信用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P147
- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。メディアプレイヤーの説明画面が表示された場合は、［使い方の説明を読む］または［説明を読まず利用する］を選択します。

◆音楽／動画の再生

1 ホーム画面で

2 ［全曲］／［ムービー］／［アーティスト］／［アルバム］／［プレイリスト］／［着うた］

一覧画面が表示されます。

3 音楽／動画を選択

再生画面が表示されます。

- ［アーティスト］／［アルバム］を選択した場合は、再生する音楽／動画が表示されるまでアーティスト名／アルバムなどを選択します。

◆ dマーケットからの購入

1 ホーム画面で

2 [dマーケット]→[dミュージックで探す]／[dビデオで探す]／[dアニメストアで探す]

- 初回起動時は、dマーケットのアプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。

◆ メディアプレイヤーのヘルプ

メディアプレイヤーの操作方法を確認できます。

1 ホーム画面で

2 →[ヘルプ]

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P27）付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報アクセスの設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[位置情報アクセス]

2 画面右上のボタンをタップして[位置情報アクセス]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

位置情報についての同意画面が表示されます。

4 [同意する]

5 [モード]→モードを選択

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ［位置情報アクセス］をONにしてください。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で→［マップ］

- 初回起動時は、利用規約とプライバシーポリシーに同意する必要があります。
- 自分だけのマップ画面が表示されたら、［スキップ］または［ログイン］をタップします。
  ［ログイン］をタップした場合は、画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定してください。
- Googleマップの操作については、をタップして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で［位置情報サービスが無効です］の画面が表示されたら、［設定］をタップし、画面の指示に従って設定してください。

時計

卓上時計を表示したり、アラームを設定したりします。

1 ホーム画面で→［時計］

卓上時計が表示されます。

■ 時計画面での主な操作

アラームの設定：［アラーム］

- 以降の操作は「アラームの設定」をご覧ください。→P94

世界時計の設定：［時計］→→都市を選択

卓上時計を夜間モードに切り替え：［時計］→→［夜間モード］

タイマーの設定：［タイマー］→時間を設定→［開始］

ストップウォッチの設定：［ストップウォッチ］→［開始］

◆ アラームの設定

1 ホーム画面で→［時計］→［アラーム］

2 目的の操作を行う

アラームを追加：［＋］→時刻を設定→［完了］→各項目を設定

アラームON／OFF切り替え：アラームの時刻の右のボタンをタップしてON／OFFにする

アラームを編集：アラームの時刻をタップ→時刻を設定→［完了］→各項目を設定

アラームを削除：削除するアラームの

❖アラーム通知時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。
アラームの停止：通知画面の を までスライド
スヌーズを設定：通知画面の を までスライド
- 一定時間が経過すると再びアラームが動作します。

スヌーズを解除：通知パネルを開く→アラーム通知の［停止］をタップ

予定表

Googleアカウントのカレンダーと同期させて予定を管理できます。

◆ 予定表の表示

1 ホーム画面で →［予定表］

■ 予定表画面での主な操作
表示単位の切り替え：［日］／［週］／［月］／［予定リスト］
今日を含む表示に切り替え：［今日］
同期、表示するカレンダーの選択： →［設定］→同期、表示するアカウントをタップ→右側リスト欄のアカウントにチェック
予定表の設定： →［設定］→［全般設定］→各項目を設定

◆ 予定の登録

1 予定表画面で［予定を作成］
- アカウント追加画面が表示されたら、必要に応じてアカウントを追加してください。
- 時間帯をロングタッチ（月表示の場合は日付をタップしてから時間帯をロングタッチ）→［新しい予定］をタップしても登録できます。

2 各項目を設定→［完了］

❖通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で予定の確認やスヌーズの設定ができます。

1 通知パネルを開く

2 目的の操作を行う
予定の確認：通知をタップ
詳細画面が表示され、予定の編集や削除ができます。
通知をスヌーズ：［スヌーズ］
5分後に再度予定を通知します。

◆ 予定の確認

登録した予定の詳細を表示します。

1 予定表画面で予定をタップ
- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■ 詳細画面での主な操作
予定の編集：［編集］→予定を編集→［完了］
予定の削除：［削除］→［OK］

電卓

1 ホーム画面で→[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：

数式をすべて消去：（ロングタッチ）

切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をロングタッチ→切り取り／コピー／貼り付けの操作を行う

- 数式表示欄を上下にフリックして数式の履歴を表示できます。
- 数式表示欄での貼り付けの操作は数値に対応しています。
- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。[C]をタップして計算結果を消去できます。

電子辞書

電子辞書を利用します。

1 ホーム画面で→[統合辞書＋]

2 キーワードを入力→[検索]

- 文字入力中はキーワードに連動して検索候補が表示されます（インクリメンタルサーチ）。

音声検索：→マイクに向かってキーワードを発声

3 候補一覧から調べたいキーワードを選択

ヘルプの表示：

- 電子辞書の操作方法を確認できます。

バージョン情報の表示：

電子辞書設定：→[設定]→各項目を設定

- 文字サイズ、検索件数、動画や音声再生の動作などを設定できます。

辞書の管理：→[辞書管理]→目的の操作を行う

- 辞書の保存先を移動したり、辞書を削除したりします。

✔お知らせ

- 本端末またはパソコンを使ってダウンロードサイトから辞書データを追加して利用できます。詳しくは、操作2で[電子辞書一覧]タブの[辞書を追加する]をタップしてご覧ください。
- パソコンを使って辞書コンテンツをダウンロードする場合は、microSDカードとパソコンをmicroSDカードリーダー／ライターなどを使って接続し、辞書コンテンツをダウンロードしてください。
- インターネットに接続して辞書コンテンツをダウンロードする場合には、通信環境によって時間がかかることがあります。また、本端末でダウンロードするとパケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末でダウンロード中でも、辞書ダウンロード以外の機能をご利用になれます。
- ダウンロードが途中でキャンセルされた場合でも、ダウンロードが完了している辞書は更新されます。
- 音声検索を利用する場合や、Wikipedia検索を利用した場合は、パケット通信料がかかることがあります。

検索

キーワードを入力して本端末内やWebサイトを検索したり、本端末内のアプリを呼び出して起動したりできます。音声でWebサイトを検索することもできます。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で→[Google]

- 初回起動時はGoogle Now使用の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

音声検索：ホーム画面で→［音声検索］→マイクに向かってキーワードを発声

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力して をタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆検索設定

検索機能の設定を行います。

1 ホーム画面で→[Google]→

2 →[設定]→各項目を設定

Google Now：Google NowのON／OFFを設定します。

タブレット内検索：検索対象とする本端末内のデータの種類を設定します。

音声：Google音声検索の機能を設定します。→P137

アカウントとプライバシー：位置情報設定を変更したり、法的事項を確認したりします。

通知※：Google Nowからの更新情報の通知について設定します。

※［Google Now］をONに設定している場合に表示されます。

✔お知らせ

- 特定の検索サイトを選択して検索できる［ウルトラ統合検索］をタブレット内検索で検索対象にした場合は、ホーム画面で→［ウィジェット］→［ウルトラ統合検索］をロングタッチしてホーム画面に移動し、一度起動してからご利用いただけます。

ドコモバックアップ

- 初回起動時は、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。

◆ microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

❖バックアップ

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータをmicroSDカードにバックアップします。

- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリでは画像・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存・復元]

2 [バックアップ]→バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存・復元]

2 [復元]→復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

❖電話帳アカウントコピー

Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存・復元]

2 [電話帳アカウントコピー]→Googleアカウントの電話帳で[選択]→[上書き]／[追加]→[OK]

✔お知らせ

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、⋮ →［ヘルプ］をタップしてご確認ください。

◆データ保管BOXへ保存・復元

❖バックアップ

音楽、ユーザ辞書、ブックマークのデータをデータ保管BOXにバックアップします。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[データ保管BOXへ保存・復元]

2 [バックアップ]

- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

✔お知らせ

- 定期バックアップ設定を利用すると、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

❖復元

データ保管BOXにバックアップした音楽、ユーザ辞書、ブックマークのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で→[ドコモバックアップ]→[データ保管BOXへ保存・復元]

2 [復元]

- ログインについての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

✔お知らせ

- データ保管BOXから復元する際、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。ただし、機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で→［設定］をタップして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

■ 無線とネットワーク

メニュー		参照
Wi-Fi		106
Wi-Fiかんたん接続	AOSS方式	108
	WPS方式	
Miracast		153
Bluetooth		143

メニュー		参照
その他...	データ使用	109
	機内モード	109
	デフォルトのSMSアプリ	109
	VPN設定	110
	テザリング	110
	NFC	146
	Androidビーム	
	モバイルネットワーク	105 112 155
	Bluetooth Low Energy設定	145

■ 端末

メニュー		参照
音・バイブ	音量	112
	マナーモード	113
	マイク選択	114
	IP通話アプリの音質サポート	114
	通知LED	114
	通知音	114
	タッチ操作音	
	画面ロックの音	
	充電通知バイブ	
	ロック解除時バイブ	
	はっきりタッチ	114

メニュー		参照
ディスプレイ	画面の明るさ	115
	スリープ／持ってる間ON	115
	壁紙	48
	スクリーンセーバー	115
	シアターモード	115
	スライドイン機能設定	116
	ホーム画面切替	46
	画面のカスタマイズ	46
	キャプメモボタンの表示	116
	画面の自動回転	116
	インテリカラー	116
	あわせるローテーション	117
	ブルーライトカットモード	117
	あわせるビュー	117
	フォント	117
	フォントサイズ	118
	うっかりタッチサポート	118
スタイル設定	スタイル切替	118
	ファミリー利用設定	119

メニュー		参照
マルチメディア	動画補正	119
	静止画補正	
	長時間再生モード	120
	機能を有効にする	120
	ランチャー設定	
	設定アプリケーションを起動	120
ストレージ	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	121
	SDカード内データを消去	
	SDカード挿入時のメニュー表示	121
	SDカード パスワード設定	135
	USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント	152
	ダウンロードファイル保存先	121
電池	バッテリモニターセンサー	121
	電池の使用量	
	アプリ動作時間	
	アプリ電池診断	
NX!エコ		122
アプリケーション		122

■ ユーザー設定

メニュー		参照
ドコモのサービス／クラウド	docomo ID設定	123
	ドコモクラウド	
	アプリケーション管理	
	docomo Wi-Fiかんたん接続	
	ドコモアプリパスワード	
	オートGPS	
	ドコモ位置情報	
	データ量確認	
	端末エラー情報送信	
	遠隔初期化	
	プロフィール設定	
	オープンソースライセンス	
位置情報アクセス		93

メニュー		参照
セキュリティ	ロック画面壁紙	128
	ウィジェットの有効化	128
	所有者情報	128
	セキュリティ解除方法	127
	指紋設定	130
	アプリケーションロック	131
	SIMカードロック設定	126
	パスワードを表示する	127
	パスワードマネージャー	131
	最近使ったアプリを表示しない	131
	プライバシーモード設定	132
	デバイス管理機能の選択	ー
	提供元不明のアプリ	134
	アプリを確認する	134
	ストレージのタイプ	135
	信頼できる認証情報	135
	証明書のインストール	135
	認証ストレージの消去	135
	SDカード パスワード設定	135
	暗号化設定	136

メニュー		参照
言語と入力	Language	38 40 137
	スペルチェック	
	ユーザー辞書	
	デフォルト	
	音声検索	
	テキスト読み上げの出力	
	ポインタの速度	
初期化		163
アカウント		138

■ システム

メニュー		参照
日付と時刻	日付と時刻の自動設定	139
	タイムゾーンを自動設定	
	日付設定	
	時刻設定	
	タイムゾーンの選択	
	24時間表示	
	日付形式の選択	

メニュー		参照
ユーザー補助	字幕	139
	拡大操作	
	大きい文字サイズ	
	画面の自動回転	
	パスワードの音声出力	
	ユーザー補助のショートカット	
	テキスト読み上げの出力	
印刷	クラウド プリント	147
	Canon Print Service	148
	Epson 印刷サービス プラグイン	
タブレット情報	ソフトウェア更新	166
	Androidバージョンアップ	169
	マイプロフィール	56
	端末の状態	139
	法的情報	
	認証	
	モデル番号	
	Androidバージョン	
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	

無線とネットワーク

◆アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

- mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P110

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 →[新しいAPN]

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→→[保存]

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してAPNの一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、［新しいAPN］で再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、初期状態に戻ります。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 →[初期設定にリセット]

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択→⋮→［APNを削除］をタップして、アクセスポイントを1件ずつ削除することもできます。

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆Wi-Fi

自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で→［設定］

2 ［Wi-Fi］をONにする

3 ［Wi-Fi］→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

- Wi-Fiの詳細設定の［auto-IP設定］にチェックを付けている場合、アクセスポイントを選択して接続する際に誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力すると［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「docomo ID」の設定が必要です。設定するには、ホーム画面で→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］→［docomo ID設定］をタップして操作します。

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi]

2 →[スキャン]

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi]

2 [＋ネットワークを追加]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは［なし］［WEP］［WPA/WPA2 PSK］［802.1x EAP］が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[削除]

❖Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうしで接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリをPlayストアから入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[Wi-Fi]

2 →[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、［デバイスの検索］をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→［OK］

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、［同意する］をタップしてください。

❖Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fi］

2 →［詳細設定］

3 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なとき、通知するように設定します。
- Wi-FiがOFFの場合は設定できません。

Wi-FiオートON／OFF：モバイルネットワーク基地局の情報を用いて、自動でWi-Fi機能をON／OFFします。Wi-Fi接続したエリアを検出したときに自動でWi-FiをON、Wi-Fi接続していないエリアを検出したときに自動でWi-FiをOFFにするかを設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面が消灯したときや充電しているとき、Wi-Fiを使用するかを設定します。

接続不良のとき無効にする：Wi-Fiネットワークが不安定なとき、Wi-Fiネットワークを使用しないようにするかを設定します。

スキャンを常に実行する：Wi-FiがOFFの場合でも、Wi-Fiネットワークをスキャンするかを設定します。

Wi-Fi周波数帯域：Wi-Fiの周波数帯域を設定します。

証明書のインストール：証明書をインストールします。

Wi-Fi最適化：Wi-FiがONのとき、消費電力を抑えるようにするかを設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

auto-IP設定：auto-IP機能を有効にするかを設定します。
- Wi-FiがONの場合は設定できません。

✔お知らせ

- ［Wi-FiオートON／OFF］は、機内モードがONまたはWi-Fiテザリングの場合、動作しません。
- ［Wi-FiオートON／OFF］は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。
- ［Wi-FiオートON／OFF］にチェックを付けてWi-Fiネットワーク接続を優先にすることで、パケット通信によるデータ通信量を抑えることができます。

◆Wi-Fiネットワークのかんたん接続

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［Wi-Fiかんたん接続］

2 登録方式を選択

AOSS™方式：［AOSS方式］→［AOSS］ボタンをタップ→アクセスポイント側で操作→接続完了画面で［完了］
- 初めて利用する場合は、「ソフトウェア使用許諾契約」に同意いただく必要があります。

WPS方式：[WPS方式]→[プッシュボタン方式]／[PIN入力方式（8桁）]／[PIN入力方式（4桁）]→アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK]をタップします。

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。

◆ データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[データ使用]

2 [モバイルデータ]をONにする

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- [モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付けると、使用量の制限を設定できます。
- →[バックグラウンドデータ制限]にチェックを付けると、バックグラウンドデータを制限することができます。
- →[データの自動同期]にチェックを付けると、Googleなどのオンラインサービスの情報を本端末に同期することができます。

◆ 機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（パケット通信、Wi-Fi、Miracast、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi、Miracast、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[機内モード]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- を押し続けて表示されるタブレットオプションメニューからも設定／解除できます。

◆ デフォルトのSMSアプリ

本端末で使用するメッセージアプリを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[デフォルトのSMSアプリ]

2 アプリを選択

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめセキュリティ解除方法の暗証番号、パスワード、指紋のいずれかを設定してください。→P127

❖VPNの追加

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]

2 [+]→各項目を設定→[保存]

❖VPNへの接続

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

❖VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択→[切断]

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fi、Bluetoothで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdocomo IDによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。
- 本端末は、DUNプロファイルを使ったBluetoothテザリングに対応しています。
  Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめBluetooth機器とのペアリング設定が必要です。→P144
  Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖USBテザリング

本端末をPC接続用USBケーブル T01（別売品）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]

3 [USBテザリング]

4 注意事項の詳細を確認して[OK]

✔お知らせ

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8／8.1のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

■ Wi-Fiテザリングの設定

Wi-FiテザリングをONにして、接続の設定を行います。

- 初期状態では、セキュリティには［WPA2 PSK AES］が、［パスワード］にはランダムな値が設定されています。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 注意事項の詳細を確認して[OK]

4 [ネットワークSSID]→ネットワークSSIDを入力

- 初期状態は、「F-02F_AP」が設定されています。
- 登録済みの設定を変更する場合は、［Wi-Fiアクセスポイントを設定］を選択すると設定画面が表示されます。

5 [セキュリティ]→セキュリティを選択

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA PSK TKIP］［WPA PSK AES］［WPA2 PSK AES］［WPA/WPA2 PSK］が設定可能です。

6 [パスワード]→パスワードを入力→[保存]

❖Wi-Fiテザリングかんたん接続

AOSS™またはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-Fiテザリングを🔘にしてください。

1 ホーム画面で🔘→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリングかんたん接続]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：[AOSS方式]→Wi-Fi対応機器側で操作→登録画面で[OK]

WPS方式：[WPS方式]→[プッシュボタン方式]／[PIN入力方式]→各種操作→登録画面で[OK]

- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、[OK]をタップします。

✔お知らせ

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は[はい]をタップしてください。
- AOSS™設定を解除するには、[Wi-Fiアクセスポイントを設定]画面で[AOSS解除]をタップします。
- Wi-Fi対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

◆パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 ホーム画面で🔘→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]のチェックを外す

3 内容を確認して[OK]

音・バイブ

◆音量

メディア再生音、着信音と通知音、アラームの音量を調節できます。

- マナーモード中は設定できません。

1 ホーム画面で🔘→[設定]→[音・バイブ]→[音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

◆マナーモード

マナーモードを設定／解除します。
- マナーモードの種類は変更できます。→P113

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]

2 [マナーモード]を[ON]／[OFF]
- マナーモードを設定すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P42

✔お知らせ
- 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
  - タブレットオプションメニューが表示されるまでを押し続ける→［通常マナー］→［OK］
  ※ 設定しているマナーモードによっては、［サイレントマナー］／［アラームONマナー］／［オリジナルマナー］をタップします。
- 本端末では、マナーモードに関わらず、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音とキャプメモのキャプチャ音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。
オリジナルマナー：音の種類ごとに音量を設定できます。
- オリジナルマナーの音量を［サイレント］に設定している場合、音量キーの上を押すなどして音量を上げると、オリジナルマナーの音量も変更されますのでご注意ください。

❖オリジナルマナー

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]

2 [メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

3 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

◆IP通話アプリの音質サポート

IP通話アプリの音質サポート機能を使用するかどうかを設定します。

- Voice over IPの技術を使用したアプリでの通話は、ネットワークの遅延時間などにより、電話と比較して音質が劣る場合があります。本機能は、アプリの実現している音質を元に、ノイズや通話相手側に聞こえるエコー量の削減を行います。音の途切れや遅延などに関する効果はありません。
- アプリのバージョンアップを行ったことにより、本機能の効果が得られなくなる場合があります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 使用するアプリによっては、本機能の効果が得られないことがあります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 本機能はBluetoothを使用した通話時には動作しません。

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]→[IP通話アプリの音質サポート]にチェック／チェックを外す

◆通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]

2 各項目を設定

マイク選択：ステレオイヤホン接続時の音声入力先を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は［タブレットのマイク］を選択してください。
通知音：通知音を設定します。
タッチ操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。
充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
ロック解除時バイブ：画面ロックの解除時に、振動でお知らせするかどうかを設定します。

- セキュリティ解除方法を［タッチ／スワイプ］に設定している場合のみ有効です。

◆通知LED

新着SMSなどをお知らせLEDの点滅でお知らせするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]

2 [通知LED]にチェック／チェックを外す

◆はっきりタッチ

タッチ操作が認識されていることを振動でお知らせするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[音・バイブ]

2 [はっきりタッチ]にチェック／チェックを外す

ディスプレイ

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[画面の明るさ]

2 スライダーをスライドして明るさを調整→[OK]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、[明るさを自動調整]にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調整します。
- 屋外のような明るい場所でも画面を見やすくする場合は、[スーパークリアモード]にチェックを付けます。

◆ スリープ／持ってる間ON

❖スリープ

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ／持ってる間ON]

2 [スリープ]→時間を選択

❖持ってる間ON

本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ／持ってる間ON]

2 [持ってる間ON]にチェック／チェックを外す

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]

2 画面右上のボタンをタップして[スクリーンセーバー]をONにする

3 各項目を設定

- [今すぐ起動]をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。
- [起動のタイミング]をタップすると、スクリーンセーバーが起動するタイミングを設定できます。

◆ シアターモード

卓上ホルダ F43（付属品）での充電を開始すると表示される横画面専用メニューを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[シアターモード]

2 画面右上のボタンをタップして[シアターモード]をONにする

3 [アプリケーション設定]→シアターモードに配置するアプリを設定

- アプリが配置されているボタンをタップすると、登録しているアプリを削除したり、変更したりすることができます。

◆スライドイン機能設定

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたりできるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[スライドイン機能設定]

2 画面右上のボタンをタップして[スライドイン機能設定]をONにする

3 各項目を設定

- [機能説明]をタップするとスライドインランチャーやキャプメモの使いかたが表示されます。

✔お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆キャプメモボタンの表示

ナビゲーションバーに(キャプメモボタン)を表示するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 [キャプメモボタンの表示]にチェック／チェックを外す

◆画面の自動回転

本端末の向きに合わせて画面を自動回転させるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆インテリカラー

蛍光灯、電球、太陽光など、周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 [インテリカラー]にチェック／チェックを外す

◆ あわせるローテーション

本端末を持ったまま姿勢を変えたときなどに、見ている向きに合わせて画面の向きを固定できます。

- あらかじめ［画面の自動回転］を有効にしてください。→P116

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 [あわせるローテーション]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- 設定を有効にすると、画面の回転が遅くなることがあります。
- 見ている向きを確認できない場合は動作しません。
- 使用状況や、利用環境（暗いところや逆光など）によっては動作しない場合があります。

◆ ブルーライトカットモード

画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 [ブルーライトカットモード]にチェック／チェックを外す

◆ あわせるビュー

年齢に合わせて、画面の色合いを調整します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[あわせるビュー]→各項目を設定

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[フォント]→フォントを選択→[OK]

- ［オリジナル手書きフォント］を選択すると、オリジナルのフォントを作成して使用できます。［オリジナル手書きフォント］の［個別文字編集］をタップすると、作成した文字と自分の手書き文字を交換することができます。

✔お知らせ

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。
- ［オリジナル手書きフォント］の［個別文字編集］で作成した文字と自分の手書き文字を交換した場合、文字によっては文章の意味がわかりにくくなることがありますのでご注意ください。

◆フォントサイズ

文字の大きさを変更します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]→[フォントサイズ]→サイズを選択

◆うっかりタッチサポート

端末を手に持ったとき、画面の端に触れていてもタッチ操作が行えるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 [うっかりタッチサポート]にチェック／チェックを外す

スタイル設定

◆スタイル切替

スタイルを作成・設定することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[スタイル設定]→[スタイル切替]

2 スタイルを選択

- ［新規作成］をタップしてスタイルを作成することができます。また、スタイルの選択画面でスタイルをロングタッチすると、スタイル名の編集やスタイルの削除、ファミリーモード時はスタイルを指紋認証で切り替える設定ができます。

✔お知らせ

- キッズスタイル設定時に認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定していると、設定メニュー内を表示する際に認証操作が必要です。また、一部のメニュー項目を表示する際にも認証操作が必要です。
- スタイルを指紋認証で切り替えるようにするには、あらかじめセキュリティ解除方法を［指紋］に、ファミリー利用設定をファミリーモードに設定してください。

❖キッズスタイル設定

利用できるアプリや利用時間帯などを制限したキッズスタイルを作成・設定することができます。

- あらかじめ、認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→[設定]→[スタイル設定]→[スタイル切替]→[新規作成]

2 スタイル名を入力→テンプレートでキッズスタイルを選択→[スタイルを登録して次へ]

3 各項目を設定

キッズの利用可能なアプリを選択する：キッズスタイルで利用可能なアプリを設定します。
利用できない時間帯を設定する：利用できない時間帯や曜日などを設定します。
1日の利用可能時間を設定する：1日に利用できる時間を設定します。

4 [登録完了]→作成したスタイルを選択→認証操作

- スタイルの選択画面で作成したスタイルをロングタッチすると、スタイル名の編集やスタイルの削除、キッズスタイル設定、ファミリーモード時はスタイルを指紋認証で切り替える設定ができます。
  キッズスタイル設定を選択すると、利用できるアプリや利用時間帯などの設定、キッズ利用アプリ履歴の確認、キッズ切替ガードの利用方法が表示されます。

✔お知らせ

- 本端末をお子さまが使用する場合は、キッズスタイル設定に設定することをおすすめします。また、お子さまが利用できない時間帯に、お子さまがパスワードや暗証番号などを入力して使用することを防ぐため、セキュリティ解除方法は［指紋］に設定することをおすすめします。
  - ファミリーモード時にスタイルを指紋認証で切り替えるよう設定した場合、お子さまの指紋登録時に「スタイル切替のみに利用」にチェックを付けて使用されることをおすすめします。

◆ファミリー利用設定

標準モード／ファミリーモードを選択します。

1 ホーム画面で→[設定]→[スタイル設定]→[ファミリー利用設定]→[標準モードで使う]／[ファミリーモードで使う]

マルチメディア

◆動画補正／静止画補正

動画（ワンセグやYouTubeなど）と、静止画（ギャラリー）の画質補正をするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[マルチメディア]

2 [動画補正]／[静止画補正]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、1080p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。
- 動画によっては画質補正されない場合もあります。

◆長時間再生モード

MP3、AACの音楽再生時に消費電力を抑えるようにするかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[マルチメディア]

2 [長時間再生モード]にチェック／チェックを外す

◆イヤホンランチャー設定

イヤホン接続時に、ランチャーを表示してアプリを起動できるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[マルチメディア]

2 イヤホンランチャー設定の[機能を有効にする]にチェック／チェックを外す

- ランチャーに表示されるアプリは、[ランチャー設定]で設定します。

◆Dolby Digital Plus設定

動画や音楽などの再生にDolby Digital Plusを使用するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[マルチメディア]→[設定アプリケーションを起動]

- Dolby Digital Plus設定画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

2 各項目を設定

- をタップするたびにDolby Digital Plusのオン／オフが切り替わります。オンになると、ステータスバーにが表示されます。
- Dolby Digital Plusを使用しているときと使用していないときのコンテンツの違いを聴く場合は、［Play Demo］をタップします。
- ［Movie］／［Music］／［Game］／［Voice］／［Custom 1］／［Custom 2］をタップすると、プロファイルが切り替わり、各プロファイルの設定画面が表示されます。
- プロファイルの設定画面でをタップすると、選択しているプロファイルを初期状態に戻します。
- をタップすると、各機能の説明が表示されます。

✔お知らせ

- Dolby Digital Plusを設定した場合は、イコライザなどの他の音響機能を使用しないことをおすすめします。

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカードの空き容量を確認します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

- microSDカードのマウント解除についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定しているときは、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

◆ microSDカードの利用時にメニューを表示

microSDカードの取り付け時やマウント時に、静止画／動画の表示やコピー操作のメニューを表示するかを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]

2 [SDカード挿入時のメニュー表示]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- コピー中は本端末のmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。

◆ ダウンロードファイル保存先

本端末にダウンロードしたファイルの保存先を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]

2 [ダウンロードファイル保存先]→保存先を選択

電池

電池の使用状況を確認します。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]

2 各項目を確認

バッテリモニターセンサー：電池残量とブラウザなどの使用可能時間を表示します。
電池の使用量：電池残量、電池使用時間、使用中のアプリを表示します。
アプリ動作時間：アプリの動作時間を1ヵ月分まで表示します。

アプリ電池診断：画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電池の消費に影響があるアプリを表示します。

NX!エコ

◆エコモードの起動／停止

エコモードを起動／停止します。

- エコモードが起動すると、ステータスバーに が表示されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[NX!エコ]

2 [ON]／[OFF]

❖エコモードの詳細設定

1 ホーム画面で→[設定]→[NX!エコ]

2 各項目を設定

エコレベル切替：エコレベルの種類を設定します。

- [やんわり]／[しっかり]を設定した場合は、をタップして設定内容を確認できます。[オリジナル]を設定した場合は、をタップして設定内容を確認・変更できます。

画面消灯時の動作制限アプリ指定：電池の消費を抑えるために画面消灯時に動作を制限するアプリを設定できます。

電池残量：設定した電池残量より少なくなると、エコモードが起動します。

時間帯1／時間帯2：設定した時間帯になると、エコモードが起動します。

充電中は起動しない：充電中はエコモードを起動しないようにするかを設定します。

✔お知らせ

- アプリによっては、本機能の効果を得られない場合があります。

アプリケーション

◆本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択

◆アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]

- [データを消去]を選択した場合は、注意画面の内容を確認して[OK]をタップします。

◆アプリの削除

- Playストアから入手したアプリは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→P71
- 初期状態でインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

◆アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなりますがアンインストールはされていません。

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[無効にする]→注意画面の内容を確認して[OK]

アプリの有効化：アプリを選択→[有効にする]

✔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

docomo ID設定：ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。
ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
アプリケーション管理：定期アップデート確認などの設定を行います。
docomo Wi-Fiかんたん接続：docomo Wi-Fiかんたん接続の設定を行います。
ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。
- 初期値は「0000」に設定されています。

オートGPS：オートGPS機能の設定などを行います。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
データ量確認※：データ量確認アプリの集計間隔、計測の開始／停止などを設定します。
※ 本端末を初期化すると表示されなくなります。
端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
遠隔初期化：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✔お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

ロック／セキュリティ

◆本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P126
PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の端末に取り付けて使用する場合は、その端末にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

◆PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

[SIMカードをロック]にチェックが付きます。

- 設定を解除するには、[SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]でチェックを外します。

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINコードの変更

PINコードを変更するには、あらかじめPINコードを設定([SIMカードをロック]にチェックを付ける)しておく必要があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 新しいPINコードを再入力→[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力→

2 新しいPINコードを入力→

3 新しいPINコードを再入力→

◆画面ロック

誤操作防止用にロック画面を表示したり、他人が不正に使用するのを防ぐためにロック画面で認証操作を必要にしたりできます。

❖セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 項目を選択

なし：ロック画面を表示しないように設定します。
タッチ／スワイプ：タッチ／スワイプでロック解除するように設定します。
パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロック解除するように設定します。
暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロック解除するように設定します。
パスワード：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロック解除するように設定します。
指紋：指紋認証でロック解除するように設定します。

- 指紋認証を利用する場合は、留意事項（→P129）を確認してから指紋登録をしてください。
- すでに指紋を登録している場合で、セキュリティ解除方法が［なし］または［タッチ／スワイプ］のときは、［指紋］をタップした後に指紋認証の操作が必要です。

顔認証：顔認証でロック解除するように設定します。

- 画面ロックの解除時以外は、［バックアップのロックの選択］で設定した解除方法で操作します。

✔お知らせ

- ロック解除時にパターンを表示させない場合は、ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［パターンを表示する］のチェックを外します。
- パスワード入力時に入力した文字を表示させない場合は、ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［パスワードを表示する］のチェックを外します。
- 顔認証時にまばたきを必要にする場合は、ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［生体検知］にチェックを付けます。
- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、暗証番号、パスワード、指紋のいずれかになります。
- 認証ストレージを利用している場合、指紋と併用する解除方法を設定すると、電源を入れ直したあと一時的に指紋認証が利用できなくなることがあります。この場合、指紋と併用する解除方法で一度認証すると、以降は指紋認証が利用できるようになります。

❖画面のロック／解除

■ ロック

1 ／指紋センサーを押す

スリープモードになり、画面ロックがかかります。

■ ロック解除

1 スリープモード中に／指紋センサーを押す→ロック画面で

- セキュリティ解除方法の設定（→P127）によっては、ロック画面での認証操作になります。
- 指紋認証の場合、操作1で指紋センサーを押したときは、指を指紋センサーから離してから、指紋センサー上を登録した指でスライドして解除ができます。
- セキュリティ解除方法を［指紋］に設定しているときに指紋認証が行えない場合は、他の解除操作を行います（［指紋と併用する解除方法］が［なし］を除く）。

✔お知らせ

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［電源ボタンですぐにロックする］にチェックを付けると、／指紋センサーを押すことですぐに画面ロックがかかり、解除するには認証操作が必要になります。
- ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［ウィジェットの有効化］にチェックを付けると、ロック画面で右にフリックすることでウィジェット画面やウィジェット追加画面を表示できます。

❖ロック画面の壁紙設定

ロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［ロック画面壁紙］

2 ［設定なし（ホーム壁紙）］／［ギャラリー］／［壁紙］

以降は画面の指示に従って操作してください。

❖ロック画面に所有者情報を表示

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］

2 ［所有者情報］→所有者情報を入力

- ［ロック画面に所有者情報を表示］のチェックが外れている場合は、チェックを付けます。

❖画面の自動ロック

認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］

2 ［自動ロック］→時間を選択

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいセキュリティ解除方法を設定してから解除してください。

- 画面ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

1 ロック画面で[パターンを忘れた場合]／[暗証番号を忘れた場合]／[パスワードを忘れた場合]→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいセキュリティ解除方法を設定

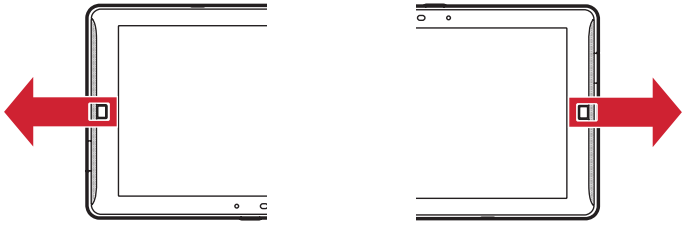
◆指紋認証機能

指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

❖指紋認証機能利用時の留意事項

指紋認証機能利用時の留意事項は次のとおりです。

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで、図のように横方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。



- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。

- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖指紋センサー利用時の留意事項

指紋センサー利用時の留意事項は次のとおりです。

- 指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖指紋登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋認証を利用するには、2件以上の指紋登録が必要です。
- 最大12件登録できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[指紋設定]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法が設定されている場合は、認証操作が必要です。また、セキュリティ解除方法が設定されていない場合でも、すでに指紋を登録しているときは指紋認証の操作が必要です。

2 項目を選択→メッセージに従って指紋センサーを押さない程度の力で指をスライド

- 2件目も同様の操作で登録します。

登録した指紋の削除：項目を選択→［指紋を削除する］→［指紋を削除する］

- セキュリティ解除方法が［指紋］に設定されているときは、登録件数が2件の場合は削除できません。

3 ［完了］

❖指紋認証の操作

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上を登録した指でスライド

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

◆アプリケーションロック

起動時に認証操作を必要とするアプリを設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [アプリケーションロック]→認証操作→アプリにチェック／チェックを外す

3 →[設定]→[アプリケーションロック]にチェック／チェックを外す

◆パスワードマネージャー

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P127
- 最大50件登録できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[パスワードマネージャー]→認証操作

2 →各項目を設定→[完了]

編集：タイトルをタップ→→各項目を編集→［完了］

削除：タイトルをタップ→→［OK］

バックアップ／リストア：→［バックアップ／リストア］→項目を選択→画面の指示に従って操作

全件削除：→［全件削除］→［OK］

◆最近使ったアプリの表示

をタップしたときに、最近使ったアプリを表示するか設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [最近使ったアプリを表示しない]にチェック／チェックを外す

◆ プライバシーモード

プライバシーモードを設定すると、Android標準ブラウザのブックマークや画像、アプリ（ホームアプリがNX!ホームの場合）を非表示にできます。また、プライバシーモード対応アプリをダウンロードしていただくことで、特定の人物の電話帳やメールを非表示にしたり、メール受信時の動作を設定したりできます。

- NX!電話帳とNX!メールに対応しています。「プライバシーモードの動作設定（電話帳）」（→P132）の操作の途中で表示される画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてご利用ください。インストール後は「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

❖プライバシーモード利用時の留意事項

- プライバシーモードの機能説明や注意事項、対応アプリについては、ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作→［機能説明・注意事項］をタップして各項目をご覧ください。
- FUJITSUアカウントの電話帳のみプライバシーモードを設定できます。docomoアカウントからFUJITSUアカウントに変更すると、ｉコンシェル追記データ、SNSアカウント情報は保存されません。
- お気に入りやグループに登録した電話帳にプライバシーモードを設定すると、アカウントが自動で変更され、登録情報が変更されるため、お気に入りやグループに表示されなくなります。
- ドコモメールには対応していません。

❖プライバシーモード設定

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作

- 初回起動時、プライバシーモードを利用するかの確認画面が表示されたら［利用する］をタップします。

2 [プライバシーモード]にチェック／チェックを外す

- 注意事項が表示されたら、内容を確認して［閉じる］をタップします。［機能説明・注意事項を表示］をタップした場合は、確認後に↩をタップします。

❖プライバシーモードの動作設定（電話帳）

非表示にする電話帳／グループを指定します。

- 電話帳の動作設定をするには、NX!電話帳をインストールする必要があります。インストールしていない場合は、操作の途中で表示される画面の指示に従ってダウンロードしてください。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [プライバシーモード設定]→認証操作→[電話帳・メールの設定]

3 各項目を設定

電話帳：プライバシーモード中、指定した電話帳／グループを非表示にするかを設定します。
電話帳設定：非表示にする電話帳／グループを指定します。

- 電話帳一覧で、［アカウント変更］の画面が表示されたら［OK］をタップします。

✔お知らせ

- グループを指定すると、グループに登録した電話帳にプライバシーモードが設定されます。グループ変更などでプライバシーモード設定を解除する場合は、電話帳のプライバシーモード設定を解除してください。
- グループのプライバシーモードを解除すると、グループに登録した電話帳のプライバシーモードも解除されます。このとき、複数のグループに登録している電話帳は、他のグループにプライバシーモードが設定されていても表示されるようになります。この場合は、グループを指定し直してください。

❖プライバシーモードの動作設定（通知）

メール受信時の動作を設定します。

- 「プライバシーモードの動作設定（電話帳）」で電話帳を指定してください。→P132

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］

2 ［プライバシーモード設定］→認証操作→［電話帳・メールの設定］→［メール通知動作設定］→項目を選択

❖プライバシーモードの動作設定（その他の設定）

アプリ一覧画面（ホームアプリがNX!ホームの場合）のアイコン、Android標準ブラウザのブックマーク、ギャラリーの画像を指定して非表示にします。

1 ホーム画面で→［設定］→［セキュリティ］

2 ［プライバシーモード設定］→認証操作→［その他の設定］

3 各項目を設定

ホーム／ブラウザ／画像：プライバシーモード中、指定したアプリのアイコンをホーム画面などで非表示にしたり、指定したブックマークや画像を非表示にしたりするかを設定します。
ホーム設定／ブラウザ設定／画像設定：非表示にするアプリ、ブックマーク、画像を指定します。
アプリケーション通知動作設定：プライバシーモード中、アプリからの通知を非表示にするかを設定します。

- アプリからの通知は、ホーム画面で→［設定］→［アプリケーション］で各アプリの［通知を表示］を有効にした場合に表示されます。無効にした場合は、本設定に関わらず非表示になります。

文字入力予測辞書：プライバシーモード中に使用するNX!inputの予測変換辞書を設定します。
プライバシー新着通知：プライバシーモード中、非表示に指定した電話帳／グループからのメール受信時やアプリからの通知などを電池アイコンの種類を変えてお知らせするかを設定します。

❖プライバシーモード起動解除設定

プライバシーモードの起動と解除操作を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [プライバシーモード設定]→認証操作→[起動解除設定]→[解除操作]／[自動起動]→項目を選択

- ［自動起動］で［スリープ時に起動］を選択した場合は、プライバシーモードを解除した状態で画面が消灯すると、次に画面が表示されたときにプライバシーモードは起動状態になります。

❖プライバシーモードの起動／解除

1 通知パネルを開いた状態で時刻表示部分を右にフリック／指紋センサーを1秒以上押す

- 解除の場合は、認証操作が必要です。

✔お知らせ

- アプリ起動中に指紋センサーを1秒以上押すと、正常に動作しないことがあります。

◆提供元不明のアプリのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [提供元不明のアプリ]→注意文を確認後に[OK]

◆インストールするアプリのチェック

損害をもたらす可能性があるアプリのインストールを禁止したり、インストール前に警告する画面を表示したりします。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [アプリを確認する]にチェック／チェックを外す

◆認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖認証情報ストレージのタイプの表示

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [ストレージのタイプ]を確認

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [信頼できる認証情報]

❖認証情報や証明書のインストール

認証情報や証明書をインストールします。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [証明書のインストール]→インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [認証ストレージの消去]→[OK]

◆SDカードパスワード設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。
- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]

2 [SDカード パスワード設定]→認証操作

3 各項目を設定

- SDカードのマウント解除についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップします。

パスワード登録：microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。

- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。

パスワード認証：本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付けた場合は、パスワードの認証を行います。

パスワード変更：microSDカードのパスワードを変更します。

パスワード削除：microSDカードのパスワードを削除します。

パスワード強制削除：microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。

- 本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付け、本端末でパスワード認証を行う前の場合のみ操作できます。

■ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。

◆ 暗号化設定

❖タブレットの暗号化

タブレットにあるすべてのデータ（設定、アプリを含む）を暗号化します。暗号化後は電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードでの復元が必要です。暗号化を解除するには、本端末の初期化が必要です。

- あらかじめセキュリティ解除方法の［暗証番号］または［パスワード］を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[暗号化設定]

2 [タブレットの暗号化]→[タブレットを暗号化]→認証操作→[タブレットを暗号化]

❖SDカードの暗号化

本端末に挿入されたmicroSDカードにあるすべてのデータを暗号化します。

- あらかじめセキュリティ解除方法の［暗証番号］または［パスワード］を設定する必要があります。→P127

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティ]→[暗号化設定]

2 [SDカードの暗号化]→[SDカードを暗号化]→認証操作→[SDカードを暗号化]

暗号化を解除：[SDカードの暗号化解除] → [SDカードを暗号化解除] →認証操作→ [SDカードを暗号化解除] → [OK]

✔お知らせ

- 暗号化したmicroSDカードのデータは、本端末以外では利用できなくなります。データの初期化を行うと暗号化されたmicroSDカードのデータが使えなくなりますので、本端末の初期化を行う前にmicroSD カードの暗号化を解除してください。

言語と入力

- ATOKについては「NX!inputとATOKの設定」をご覧ください。→P38

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]→[Language]→[English]

✔お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で→［Settings］→［Language/Text/Input］→［言語］→［日本語］

◆ 単語登録

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]→[ユーザー辞書]

2 登録先の言語を選択→[追加]

3 単語やフレーズを入力→⏎

- ［ショートカット］に文字を登録すると、登録した文字を入力することで単語やフレーズを変換候補に表示できます。

◆ Googleキーボードの設定

Googleキーボードのキー操作音やテキストの自動修正などを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]→[Googleキーボード]の⚙→各項目を設定

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]→[音声検索]

2 各項目を設定

言語：Google音声検索時に使用する言語を設定します。
音声出力：音声出力を行うかを設定します。
「OK Google」の検出：「OK Google」と発声して音声検索を開始できるように設定します。
オフラインの音声認識：オフライン時に音声認識で使用する言語をダウンロードできます。
不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかを設定します。
Bluetoothヘッドセット※
※ 本端末では対応していません。

◆テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度を設定します。

- 初期状態では、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]→[テキスト読み上げの出力]

2 [音声の速度]→速度を選択

アカウントを追加

◆アカウントの追加

1 ホーム画面で→[設定]→[アカウント]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作

アカウントを設定：アカウントの種類を選択→アカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。

◆アカウントの削除

1 ホーム画面で→[設定]→[アカウント]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- docomoアカウント、FUJITSUアカウントは削除できません。

◆手動で同期を開始

1 ホーム画面で→[設定]→[アカウント]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→→[今すぐ同期]

❖同期の中止

1 同期中に→[同期をキャンセル]

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[日付と時刻]

2 各項目を設定

- [日付と時刻の自動設定] ／ [タイムゾーンを自動設定] のチェックを外すと、日付や時刻、タイムゾーンを手動で設定できます。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

- 初回起動時、スクリーンリーダーを利用するかの確認画面が表示されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ユーザー補助]

2 各項目を設定

タブレット情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で→[設定]→[タブレット情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：ソフトウェアを最新の状態にします。→P166
Androidバージョンアップ：本端末のOSをバージョンアップします。→P169
マイプロフィール：プロフィール情報の設定、確認をします。
端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを確認します。
法的情報／認証：オープンソースライセンスやGoogle利用規約、認証ロゴを確認します。
モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

初期状態の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
ARROWS Movie	初期状態でインストールされている動画
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Premium Photo	初期状態でインストールされている静止画
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2014年11月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✔お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。

• microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

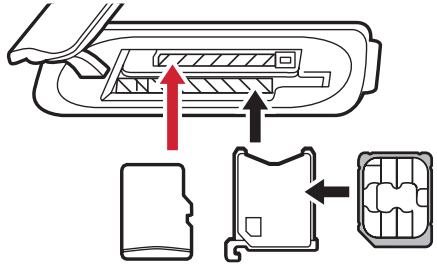
◆ microSDカードの取り付け／取り外し

• 取り付け／取り外しは、マウントを解除（→P121）するか電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

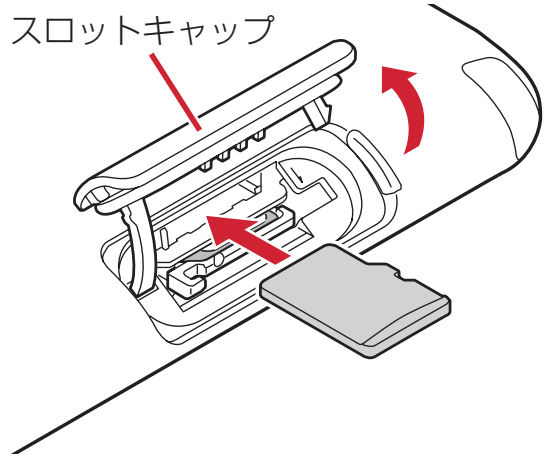
① 本端末の裏面側を上に向けてスロットキャップを開ける→P22

• スロットキャップを開けると、本端末の裏面側にmicroSDカードスロット、ディスプレイ側にドコモminiUIMカードスロットがあります。



microSDカード　ドコモminiUIMカード

② microSDカードの金属端子面を下に向け、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む



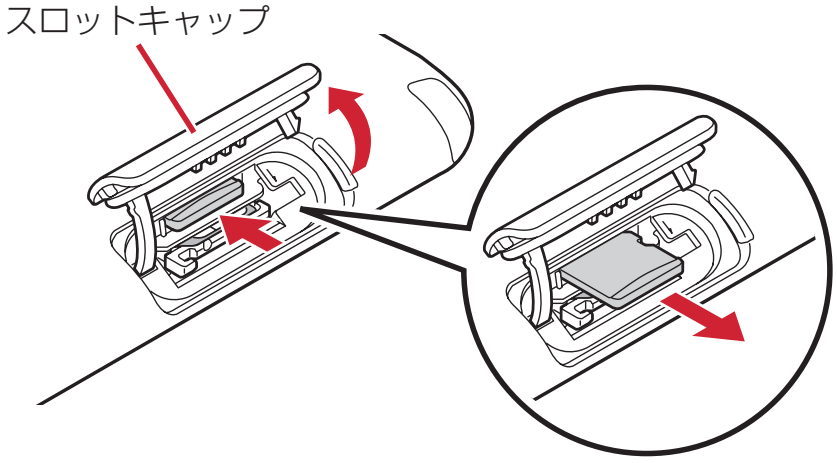
③ 本端末のスロットキャップを閉じる→P22

✔お知らせ

• microSDカードの取り付け時やマウント時に表示されるメニューは、表示させないように設定できます。→P121

■ 取り外しかた

① 本端末の裏面側を上に向けてスロットキャップを開け、microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



② 本端末のスロットキャップを閉じる→P22

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で→[KSfilemanager]

2 →[ファイルマネージャー]→フォルダ／ファイルをロングタッチ

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 画面上部の［内部ストレージ］／［SDカード］をタップすると表示するストレージの切り替えが、［上へ］をタップすると1つ上の階層のフォルダに移動します。
- →［ヘルプ］をタップすると、ファイルマネージャーの使いかたが表示されます。
- →［新規フォルダ］をタップすると新しいフォルダを作成できます。

3 目的の操作を選択

コピー：フォルダ／ファイルをコピーします。
切り取り：フォルダ／ファイルを切り取ります。
削除：フォルダ／ファイルを削除します。
･･･へコピー：フォルダ／ファイルを選択したフォルダにコピーします。
･･･へ移動：フォルダ／ファイルを選択したフォルダに移動します。
名前の変更：フォルダ／ファイルの名前を変更します。
ブックマークへ追加：フォルダをブックマークへ追加します。
送信：ファイル／ZIP圧縮したフォルダを送信します。
ZIP圧縮：フォルダ／ファイルをZIP圧縮します。
ZIP解凍：ZIPファイルを解凍します。
プロパティ：フォルダ／ファイルのプロパティを表示します。
キャンセル：操作メニューを閉じます。

データ通信

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P172
- フルセグ／ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で→[設定]

2 [Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- aptXについての画面が表示されたら［OK］をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに が表示されます。
- プロファイルがHSP/DUN/A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

1 ホーム画面で→[設定]

2 [Bluetooth]

- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、［デバイスの検索］をタップします。

3 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］をタップするか、［ペア設定する］をタップしてください。

■ 他のBluetooth機器で本端末を検出する場合

［他のBluetoothデバイスには非表示］／［ペア設定したデバイスにのみ表示］をタップして［周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示］にし、Bluetooth機器でデバイスの検索を行ってください。

✔お知らせ

- DUN（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）で接続時は、通信料が高額になる場合がある旨のメッセージが表示されます。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P90）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態、または検出できる状態にしてください。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をタップ

2 →[すべて表示]→[Bluetooth]→[OK]

- Bluetooth機能を使ってすでにデータの送受信を行っていた場合は、表示されている をタップしてもBluetooth機器を接続できます。

3 Bluetooth機器をタップ
通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]
- 受信したファイルは、ホーム画面で→［設定］→［Bluetooth］→→［受信済みファイルを表示］で確認できます。

◆Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]をONにする

2 [Bluetooth]→接続を解除したいBluetooth機器をタップ→[OK]

◆Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]をONにする

2 [Bluetooth]→Bluetooth機器の→[ペアを解除]

◆Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で→[設定]→[Bluetooth]をONにする

2 [Bluetooth]→Bluetooth機器の→[名前を変更]→機器名を入力→[OK]

◆Bluetooth Low Energy設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[Bluetooth Low Energy設定]

2 各項目を設定

Alert Notification：メール受信時などに対応機器に通知するかを設定します。

Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときの音を設定します。

Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。
- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。
- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✔お知らせ
- マナーモード、音量の設定に関わらず、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（Reader／Writer）、機器間通信機能（P2P）などが本端末でご利用いただけます。
NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]

2 [NFC]にチェック

◆ Androidビーム

- Androidビームを利用するには、あらかじめAndroidビーム機能をONに設定しておく必要があります。
- アプリによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのAndroidビーム機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]

2 [NFC]にチェック

3 [Androidビーム]→画面右上のボタンをタップしてAndroidビームを[ON]／[OFF]

❖画面に表示したコンテンツの転送

対応端末間で互いのマークをかざすだけで、画面に表示したWebサイトやコンテンツを転送できます。

1 対応端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能に設定

2 送信側の端末で転送するWebサイトやコンテンツを表示

3 対応端末のマークを近づける

対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。

4 転送する画面をタップ

受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が転送されます。

❖対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01（別売品）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8／8.1に対応しています。ただし、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSDカードがマウントされていない場合は、ホーム画面で→［設定］→［ストレージ］→［SDカードをマウント］をタップします。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 通知パネルを開く→[メディアデバイスとして接続]→[メディアデバイス(MTP)]／[カメラ(PTP)]

3 画面の表示に従って操作

4 目的の操作を行う

✔お知らせ

- ［カメラ（PTP)］を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内部ストレージのデータをパソコンから操作できます。

プリンタとの接続

◆ クラウドプリントでプリンタを接続

Googleクラウドプリント機能で、パソコンで日常使っているプリンタを接続して、本端末で表示しているギャラリーの静止画やブラウザのWebページなどを印刷することができます。また、クラウド対応プリンタの場合は、パソコンなしでインターネット接続してGoogleクラウドプリントのアカウントに関連付けしたプリンタとして接続できます。

- Googleクラウドプリントを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。
- Googleクラウドプリント機能の詳細については、Googleのホームページでクラウドプリントのヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で→[設定]→[印刷]→[クラウド プリント]

2 画面右上のボタンをタップしてクラウドプリントをONにする

3 [OK]

あらかじめGoogleアカウントでプリンタの接続設定ができている場合は、印刷時に接続できるプリンタを含むクラウドプリントメニューが表示されます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示される設定メニューの［アカウントを追加］をタップしてGoogleアカウントを設定します。
- パソコンの印刷環境で日常使っているプリンタ、またはクラウド対応プリンタの接続設定ができていない場合は、プリンタの検索中画面の後に表示されるクラウドプリント画面で→［プリンタを追加］をタップして接続方法を確認して接続を設定してください。

◆ Wi-Fi対応プリンタとの接続

キヤノン製とセイコーエプソン製のWi-Fi対応プリンタを検索する「Canon Print Service」と「Epson 印刷サービス プラグイン」を使って、本端末とプリンタを簡単に接続できます。その他のWi-Fi対応プリンタもPlayストアなどにGoogleクラウドプリント対応アプリがある場合は、ダウンロードして利用できます。

- あらかじめ本端末のWi-FiをONにして、Wi-Fi対応プリンタと同じアクセスポイントに接続しておきます。→P106

1 ホーム画面で→[設定]→[印刷]

2 [Canon Print Service]／[Epson 印刷サービス プラグイン]

3 画面右上のボタンをタップしてCanon Print Service／Epson 印刷サービス プラグインをONにする

4 [OK]

- 接続可能なプリンタを検索します。

✔お知らせ

- セイコーエプソン製／キヤノン製のWi-Fi対応プリンタについては、次のホームページでご確認ください。
〈キヤノン〉canon.jp/pixus
〈セイコーエプソン〉http://www.epson.jp/products/colorio/
- Wi-Fi対応プリンタ側での操作については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

◆印刷

1 ギャラリーの画像詳細画面／ブラウザ画面などで⋮→[印刷]

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

- クラウドプリントの場合、プリンタの代わりに［Googleドライブに保存］／［PDF形式で保存］を選択すると、印刷データをGoogleドライブに保存したり、PDFデータを作成したりできます。

2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 [印刷]

✔お知らせ

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

DLNA対応機器との接続

本端末に保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と接続するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P106
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

◆DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

- Wi-Fi設定の確認画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 →[アプリの設定]→[DiXiM Serverの設定]

- ［DiXiM Server］の確認画面が表示されたら、［はい］をタップします。

3 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がオンになります。
サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更します。
アクセス権の設定：［アクセス権の初期設定］にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、［接続機器の一覧］でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。
保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは本体メモリに保存できます。
公開フォルダ設定：接続機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。
Wi-Fi設定：Wi-Fiネットワークの接続を設定します。
非表示になったメッセージ：起動したときにメッセージを表示するかを設定します。
自動終了設定：［自動終了しない］、または自動終了するまでの時間を設定します。
画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかを設定します。

◆本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作

- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✔お知らせ

- 本端末のカメラで撮影した動画などは、F-02F以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 ホーム画面で→［DiXiM Player］

2 サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

3 →［アプリの設定］→［コンテンツタップ時の動作］→［別の機器で再生］

4 ［再生先機器の選択方法］→［その都度選ぶ］／［あらかじめ決めておく］

- ［その都度選ぶ］を選択した場合は、操作6に進みます。

5 ［既定の再生先機器］→再生先のDLNA対応機器を選択

6 →再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

- 操作4で［その都度選ぶ］を選択した場合は、リモート再生機器一覧から再生先を選択してください。

◆DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

2 サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

3 →[アプリの設定]→[コンテンツタップ時の動作]→[この端末で再生]

- [コンテンツタップ時の動作]で[別の機器で再生]を選択し、再生先の機器を選択して別のDLNA対応機器で再生することもできます。

4 →再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

5 プレイヤー画面で再生

- 録画再生中にをタップして[連続再生]をONに設定すると、録画されているコンテンツをリスト順に連続して再生できます。
- プレイヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

✔お知らせ

- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチ→をタップすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、DLNA対応機器によっては著作権保護されたコンテンツがダウンロードできない場合があります。

◆デジタル録画番組を再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 ホーム画面で→[DiXiM Player]

2 [サーバー起動]→[はい]

3 DLNA対応機器からアップロードを実行

- [保存先設定]で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。→P149

4 →[持ち出し番組]→持ち出し番組一覧で再生するコンテンツを選択

その他の機器との接続

◆USBマスストレージとの接続

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル T01（別売品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

- すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。
- 接続するUSB機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBマスストレージのUSBコネクタをUSBケーブルのソケットに差し込む

2 目的の操作を行う

✔お知らせ

- ACアダプタ付きのUSBマスストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラ、テレビ（フルセグ／ワンセグ）などと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

❖USBマスストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]

2 [USBストレージのマウント解除]→USBケーブルを取り外す

◆MHL接続でテレビに表示

本端末とHDMI／MHL端子付きテレビを接続して、テレビに動画、画像などを表示します。

- MHLに対応したテレビと接続するには、MHLケーブル（市販品）が必要です。
- HDMI端子付のテレビと接続するには、次のケーブルが必要です。
  - HDMIケーブル（市販品）（HDMIプラグ（Type A）に対応したHDMI規格認証品（カテゴリー 2推奨））
  - HDMI変換ケーブル L01（別売品）またはHDMI変換ケーブル SC01（別売品）
- HDMI変換ケーブルをご利用になる場合は、microUSB接続ケーブル（別売品）またはACアダプタ 05（別売品）などとの接続が必要です。接続方法については、HDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。
- すべてのHDMI機器との動作を保証するものではありません。

1 HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続

- HDMI変換ケーブルの接続方法については、HDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続

- テレビ表示中にHDMIケーブルが抜けると、一定時間接続待機状態になります。

✔お知らせ

- HDCP非対応のテレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによっては本端末から出力するデータが画面に収まらない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外してください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状態に影響がでる場合があります。

◆ Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

1 ホーム画面で→[設定]

2 [Miracast]→[Miracast]をONにする

- 接続するMiracast対応機器が表示されないときは、[ディスプレイを検索]をタップします。

3 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→[OK]

✔お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダーから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス5になります。LTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  -『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）	LTE
SMS	○	○	○	○
メール※	○	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→P155

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外で利用する前の確認事項

◆ ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

初期状態は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P105

❖データローミングの設定

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]

2 [データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]

❖通信事業者の設定

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、［データ通信を有効にする］のチェックを外して再度実行してください。→P112

2 通信事業者のネットワークを選択

❖ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で→[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 [LTE/3G/GSM(自動)]／[LTE/3G]／[3G/GSM]／[3G]／[GSM]

✔お知らせ

- 滞在先で［GSM］に設定した場合は、日本に帰国後、［GSM］以外に設定してください。

❖ディスプレイの表示

- 国際ローミング中は が表示されます。本端末は、LTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

❖日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P139

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［LTE/3G/GSM（自動）］に設定します。→P155
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定します。→P155

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 卓上ホルダ F43
- PC接続用USBケーブル T01
- ACアダプタ F05※1／F06※1／F07※1
- ACアダプタ 03※1／04※1／05※1
- DCアダプタ 03／04
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01※2
- microUSB接続ケーブル 01
- HDMI変換ケーブル SC01
- HDMI変換ケーブル L01
- USB同軸変換ケーブル F01
- 周辺機器接続用USBケーブル T01
- ポケットチャージャー 02
- L-03E※3

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※2 ACアダプタ 03／04／05と組み合わせてご利用ください。
※3 本端末への給電を行うチャージャー機能の対応となります。

トラブルシューティング（FAQ）

◆故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P166
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない
電池切れになっていませんか。

●画面が動かない／電源が切れない
画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に⏻を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P32
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、ACアダプタ本体のコネクタが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P31
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- PC接続用USBケーブル T01（別売品）やmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- フルセグやモバキャス視聴中は卓上ホルダ（付属品）を使用して充電を行ってください。

■端末操作・画面

●タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P33
- スリープモードになっていませんか。⏻／指紋センサーを押して解除してください。→P44
- タッチブロックモードが有効になっていませんか。→P46

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P46
  - ⮌でアプリを終了
- 「NX!エコ」を利用して、電池の消費を抑える設定を行ってください。→P122
- 電池の消費を抑える設定などARROWSについてのFAQや便利な使いかたについては、@Fケータイ応援団またはARROWS@（http://atfe.fmworld.net/at/）をあわせてご覧ください。
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

●ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P28

●タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる
操作中や充電中、充電しながらテレビの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない
本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる
複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い
- 次の設定を変更していませんか。
  - 画面の明るさ→P115
  - スリープ→P115
  - NX!エコ→P122
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。

●ディスプレイがちらつく
画面の明るさの［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P115

●ディスプレイに残像が残る
しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●ディスプレイの端から光が漏れている
ディスプレイを斜めにして見ると光が漏れていることがありますが不良品ではありません。あらかじめご了承ください。

●時計がずれる
長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P139

●端末動作が不安定
- バックグラウンドで起動中のアプリによっては動作が不安定になったり、終了したりすることがあります。その場合、使用していないアプリは終了することをおすすめします。→P46
- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源が入っている状態で、タブレットオプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける→［再起動］をロングタッチ→［OK］
  - 電源を切った状態で⏻を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてXiのロゴが表示されたら音量キーの下を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
※お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●タップしても正しく操作できない
- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。
- タッチブロックモードが有効になっていませんか。→P46

●本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない
本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P71、P123

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）
無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P123

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない
電源を入れ直してください。→P33

■ メール

●メールを自動で受信しない
- Eメールのアカウント設定で同期頻度を［自動確認しない］に設定していませんか。→P61
- NX!エコの［画面消灯時の動作制限アプリ指定］でGmailにチェックを付けた状態でエコモードを起動していませんか。→P122

■ テレビ・カメラ

●テレビの視聴ができない
- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い所にいませんか。
  TVアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P73
- 視聴場所に合ったチャンネルリストを使用していますか。→P83

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ 海外利用

●海外で、R圏が表示されているのに本端末が使えない
WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、 が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークモードの種類を［LTE/3G/GSM（自動）］に変更してください。→P155
- 通信事業者を［自動的に選択］に設定してください。→P155
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P155

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P141

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像を表示しようとすると［サムネイルなし］と表示される／画像一覧でグレーの枠が表示される

画像データが壊れている場合に［サムネイルなし］やグレーの枠が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

■ 地図・GPS機能

●オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。オートGPSの低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を［停止しない］に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P30、P123
- オートGPS動作設定にチェックを付けてください。→P123
- GPS機能がOFFになっていませんか。GPS機能がOFFの場合、オートGPSは停止します。→P123

■ その他

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに［なぞり方が速すぎます。］［なぞり方が遅すぎます。］などと表示される

センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●**指紋センサー利用時にディスプレイの表示が消える**
指紋センサーを押してしまうと、スリープモードになります。指紋センサーを押さない程度の力で指をスライドさせてください。

●**パソコンなどと本端末を接続したときに指紋認証できない**
デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。
アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

●**USBマスストレージに保存したデータが表示されない**
USBマスストレージを取り付け直してください。

●**市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない**
microUSB用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、microUSB用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

◆エラーメッセージ

●**空き容量低下**
端末の空き容量が低下しています。このままご使用にならられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。
端末の空き容量が低下している場合に表示されます。［設定画面］をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P46、P122

●**しばらくお待ちください（データサービス）**
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**指紋センサーが起動できません。**
指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

●**PINロック解除コードがロックされました**
ドコモminiUIMカードがPUKロックされた状態でPINロック解除コードを入力すると表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P125

●**SIMカードが挿入されていません**
ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P28

●**SIMカードはロックされています。**
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P126

●**SIM card 異常**
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。
ドコモminiUIMカードのICが汚れているときや電源が入っている状態でドコモminiUIMカードを取り外したときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモminiUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモminiUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

0120-783-360

受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

2 ホーム画面で→[遠隔サポート]

- 初めて利用する場合は、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 [遠隔サポートの接続画面に進む]→[同意する]

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

本端末の初期化

本端末を初期状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- SDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P121

1 ホーム画面で→[設定]→[初期化]

2 [データの初期化]→[タブレットをリセット]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✔お知らせ

- プライバシーモード中に端末の初期化を行うと、プライバシーモード設定をしているmicroSDカード内のデータにはアクセスできなくなります。microSDカードを取り付けた状態でプライバシーモードを無効にしてから、初期化を行ってください。→P132
- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え連絡先などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、連絡先などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 卓上ホルダ F43、USB同軸変換ケーブル F01は無料修理保証の対象外となります。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、連絡先などのデータをバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P157）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末のスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-02Fのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、以下の3種類があります。
  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  即時更新：今すぐ更新を行います。
  予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。充電しながら行うことをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - Androidバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
  - Wi-Fi接続先のアクセスポイントがドコモのネットワークに接続しているとき

  ※ Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません］または［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません］と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のF-02F固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、［ソフトウェア更新に失敗しました。］と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

◆ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- 初期状態は、自動更新設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 ホーム画面で→[設定]→[タブレット情報]→[ソフトウェア更新]

2 [ソフトウェア更新設定の変更]

3 [自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]

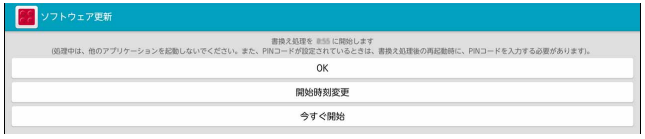
❖ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新あり）が表示されます。

- （ソフトウェア更新あり）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新あり）は消えます。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

書換え予告画面が表示されます。



書換え予告画面

2 目的の操作を行う

確認終了：[OK]

ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

時刻の変更：[開始時刻変更]

予約更新→P169「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：[今すぐ開始]

即時更新→P168「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新あり）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない］に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには設定メニューから起動する方法と書換え予告画面から起動する方法があります。

〈例〉設定メニューからソフトウェア更新を起動する

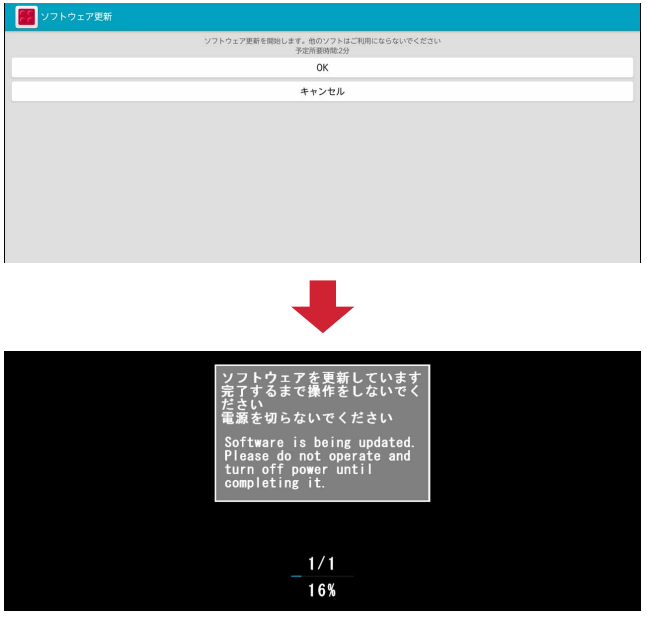
1 ホーム画面で→[設定]→[タブレット情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

書換え予告画面からの起動：書換え予告画面を表示→[今すぐ開始]

2 [ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください]と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始

- [OK]をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、ホーム画面が表示されます。



❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに☑が表示されます。通知パネルを開く→通知をタップすると、更新完了画面が表示されます。

◆ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書換え予告画面を表示→[開始時刻変更]

2 時刻を設定→[設定]

❖予約の時刻になると

開始時刻になると［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✔お知らせ

- 更新中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- Androidバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-02Fの電源が切れている場合は、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに（ソフトウェア更新中断 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が表示された場合は、以下の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 他機能との競合

Androidバージョンアップ

本端末のAndroidバージョンアップが必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、Androidバージョンを更新する機能です。Androidバージョンアップが必要な場合には、ステータスバーの（Androidバージョンアップ）やドコモのホームページでご案内いたします。

- バージョンアップにより、以下の内容が本端末に適用されます。
  - 機能の向上、追加
  - 操作性の向上
  - 品質改善
  - セキュリティパッチの最新化
- 本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへの更新をお願いいたします。

✔お知らせ

- Androidバージョンアップは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ 注意事項

- バージョンアップを行うと、以前のAndroidバージョンへ戻すことはできません。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- バージョンアップにはドコモminiUIMカードが必要です。なお、パケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要です。
- バージョンアップを行う前にすべてのアプリを終了してください。更新中に他のアプリが起動した場合、Androidバージョンアップを中断することがあります。
- バージョンアップ中は電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は本端末のすべての機能が利用できません。
- 以下の場合はバージョンアップができません。
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 親機としてテザリングをしているとき
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新中
  - Wi-Fi接続先のアクセスポイントがドコモのネットワークに接続しているとき
- バージョンアップには時間がかかることがあります。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときには［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書き換え処理を開始できません］と表示されます。
- バージョンアップを行うと一部の設定が初期化されますので、再度設定を行ってください。
- バージョンアップの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、Androidバージョンアップ以外の目的には利用いたしません。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- バージョンアップに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

◆ Androidバージョンの更新

1 ステータスバーに（Androidバージョンアップ）が表示されたら通知パネルを開く→通知（バージョンアップがあります）をタップ

- ステータスバーにが表示されない場合は、ホーム画面で→［設定］→［タブレット情報］→［Androidバージョンアップ］→［バージョンアップを開始する］をタップすると、バージョンアップが可能であるかを確認できます。可能である場合は以下の実施方法を選択する画面が表示されます。

2 実施方法を選択

今すぐ実施（Wi-Fiのみ）：Wi-Fi接続により、すぐに更新ファイルをダウンロードします。［ダウンロードしてインストール］または［ダウンロードのみ］※1のどちらかを選択し、インストールまで完了すると、本端末が再起動されます。

予約して実施（Wi-Fi/Xi）※2：Wi-Fi接続またはXi/FOMAにより、自動的に設定された時刻に更新ファイルをダウンロードします。［ダウンロードしてインストール］または［ダウンロードのみ］※1のどちらかを選択し、インストールまで完了すると、本端末が再起動されます。

今はバージョンアップを実施しない：バージョンアップを実施せずに、Androidバージョンアップを終了します。

※1 更新ファイルの［ダウンロードのみ］を選択した場合は、更新ファイルのダウンロードが完了すると、本端末へインストールができるようになります。［すぐインストール］をタップすると、すぐに更新ファイルをインストールします。［後でインストール］をタップすると、ご自身で予約した時刻に更新ファイルをインストールします。開始時刻を変更したい場合は、ホーム画面で→［設定］→［タブレット情報］→［Androidバージョンアップ］より開始時刻変更を行ってください。

※2 Xi/FOMAによるダウンロードができない場合、［予約して実施（Wi-Fiのみ）］と表示されます。

✔お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、［バージョンアップの必要はありません。このままご利用ください。］と表示されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは最長3日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、ステータスバーの（ダウンロードが中断されました）から再開できます。
- ［予約して実施］を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は、［Androidバージョンアップ］→［予約を取消］をタップし、［今すぐ実施（Wi-Fiのみ）］を選択して更新ファイルをダウンロードしてください。

◆アプリのアップデート

■通知アイコンから

バージョンアップ完了後、再起動し（バージョンアップが完了しました）が表示されます。通知パネルを開く→通知（バージョンアップが完了しました）を選択→［OK］をタップし、アップデート一覧で更新確認を行ってください。

■Playストアから

ホーム画面で［Playストア］→［Playストア］→［マイアプリ］より各アプリの更新確認を行ってください。

✔お知らせ

- アプリに更新がある場合、アプリの更新を行わないと動作が不安定になったり、機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。
- 各アプリのAndroidバージョン対応状況については、アプリの提供元にご確認ください。

主な仕様

■本体

品名		F-02F
サイズ		高さ約169mm×幅約261mm×厚さ約8.9mm
質量		約519g
内蔵メモリ		ROM：64GB RAM：2GB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約2220時間
	GSM	静止時（自動）：約1750時間
	LTE	静止時（自動）：約1690時間
ワンセグ連続視聴時間※3		約490分
フルセグ連続視聴時間※3		約440分
モバキャス連続視聴時間※3		約470分
充電時間※4		ACアダプタ F07：約300分 （卓上ホルダ F43使用時） ACアダプタ 03：約750分 ACアダプタ 04：約500分 DCアダプタ 03：約790分
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約10.1inch
	発色数	16777216色
	解像度	横2560ドット×縦1600ドット（WQXGA）
撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/4.0inch インカメラ：1/8.2inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約810万画素 インカメラ：約130万画素
カメラ記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約800万画素 インカメラ：約120万画素
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ：最大約12.0倍（32段階）
	動画	アウトカメラ：最大約4.0倍（32段階）
静止画記録サイズ		アウトカメラ： 最大画素8M 3264×2448 最大画素ワイド 3264×2048 SNS 2048×1536 TV出力 1920×1080 ケータイメール 640×480 インカメラ： 最大画素1.2M 1280×960 最大画素ワイド 1280×800 HD 1280×720 ケータイメール 640×480

動画記録サイズ		アウトカメラ： TV出力 1920×1080 HD 1280×720 ケータイメール 640×480 インカメラ： HD 1280×720 ケータイメール 640×480
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 ※5
Bluetooth機能	**バージョン**	4.0※6
	出力	power class 1
	対応プロファイル ※7	HSP、DUN、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP、ANP、FMP、PASP、PXP、TIP、HOGP
イヤホンマイクジャック		φ3.5mmオーディオジャック、4極
表示言語		日本語／英語
入力言語（文字入力）		日本語／英語／韓国語／中国語
入力言語（音声入力）		Google音声検索機能による

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2 インターネット接続をしなくてもアプリを起動すると待受時間は短くなります。

※3 ワンセグ／フルセグ／モバキャス連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

※4 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※5 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。

※6 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※7 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■内蔵電池

使用電池	リチウムポリマー電池
公称電圧	3.8V
公称容量	9600mAh（36.5Wh）

❖本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

❖静止画の保存枚数（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
ケータイメール 640×480	約400000枚	約8000枚

❖動画の録画時間（目安）

撮影サイズ	本体	microSDカード（1GB）
ケータイメール 640×480	約2198分（1件あたり約87分）	約43分（1件あたり約43分）

❖ワンセグの録画時間（目安）

- microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

microSDカード（1GB）
約320分

❖フルセグの録画時間（目安）

- microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

microSDカード（1GB）
約7分

❖本端末で表示できるファイルについて

本端末の「Document Viewer」アプリは、次のファイルの表示に対応しています。

ファイルの種類	拡張子
Microsoft Word 2003	.doc
Microsoft Excel 2003	.xls
Microsoft PowerPoint 2003	.ppt
Microsoft Word 2007／2010	.docx
Microsoft Excel 2007／2010	.xlsx
Microsoft PowerPoint 2007／2010	.pptx
テキスト	.txt
PDF	.pdf

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で→［設定］→［タブレット情報］→［認証］

Declaration of Conformity

The product "F-02F" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

FCC RF Exposure Information

This model device meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model device contains a radio transmitter and receiver. This model device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless tablet PC employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the device.
Before a tablet PC model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model device as reported to the FCC, when worn on the body, is 1.33W/kg. (Body-worn measurements differ among Tablet PC models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F02F).
For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 1.5 cm from the body.

※In the United States, the SAR limit for wireless tablet PC used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Tablet PC should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the device in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a tablet PC and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker.
Hearing Aids
Some digital wireless devices may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.
Warning
This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.
<Prevention of Hearing Loss>
Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD WING」「エリアメール」「マチキャラ」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「dメニュー」「dマーケット」「dミュージック」「dビデオ」「dキッズ」「d fashion」「ｉコンシェル」「しゃべってコンシェル」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしんスキャン」「あんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「マイマガジン」「LIVE UX」「キッズモード」「ｉチャネル」「スゴ得コンテンツ」および「Xi」ロゴ「トルカ」ロゴ「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「dキッズ」ロゴ「ｉコンシェル」ロゴ「しゃべってコンシェル」ロゴ「eトリセツ」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「ドコモメール」ロゴ「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴ「ドコモバックアップ」ロゴ「メディアプレイヤー」ロゴ「電話帳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「スケジュール」ロゴ「メモ」ロゴ「ｉチャネル」ロゴ「スゴ得コンテンツ」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、GmailおよびGmailロゴ、PicasaおよびPicasaロゴ、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Googleマップおよび Googleマップロゴ、GoogleマップナビおよびGoogleマップナビロゴ、Google音声検索およびGoogle音声検索ロゴ、Google ChromeおよびGoogle Chromeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- aptXはCSR社の登録商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。

- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNA認証は富士通株式会社が取得しました。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- フレーム補完機能には株式会社モルフォのFrameSolid®を採用しております。FrameSolid®は株式会社モルフォの商標です。
- Copyright© 2014 DigiOn, Inc. All rights reserved.
  デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
- StationTV®は株式会社ピクセラの登録商標です。

- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents: 5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- MHLおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」及び「NOTTV」「mmbi」ロゴは、株式会社mmbiの登録商標です。
- EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- 本製品の一部に、Adobe Mobile Print and Scan SDKを使用しています。©2013-2014 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 初期状態では、端末本体メモリには以下の辞書コンテンツがインストールされています。
  本端末で辞書コンテンツをダウンロードする場合、通信環境によっては膨大なパケット通信が発生しますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
  お手持ちのパソコンを使ってダウンロードした場合には、microSDカードへコピーし、本端末に取り付けてください。
  〈岩波書店〉
  広辞苑第六版 DVD-ROM版（新村出編）
  〈研究社〉
  リーダーズ英和辞典　第3版（編集代表 高橋作太郎）
  新和英中辞典　第5版（Martin Collick、David P.Dutcher、田辺宗一、金子稔編）
  〈大修館書店〉
  新漢語林MX（鎌田正、米山寅太郎著）
  みんなで国語辞典② あふれる新語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）

KY式日本語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
問題な日本語（北原保雄編（北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆））
築地魚河岸ことばの話（生田與克、冨岡一成著）
裁判おもしろことば学（大河原眞美著）
〈自由国民社〉
現代用語の基礎知識2013年版（自由国民社編）
〈角川学芸出版〉
角川類語新辞典（大野晋、浜西正人著）
〈三省堂〉
デイリー日中英・中日英辞典（池田巧監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英・韓日英辞典（福井玲・尹亭仁監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英・独日英辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日仏英・仏日英辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英・伊日英辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英・西日英辞典（上田博人、アントニオ・ルイズ・ティノコ監修／三省堂編修所編）
デイリー日中英3か国語会話辞典（池田巧・胡興智監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英3か国語会話辞典（尹亭仁監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英3か国語会話辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日仏英3か国語会話辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英3か国語会話辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英3か国語会話辞典（山村ひろみ監修／三省堂編修所編）

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で→［設定］→［タブレット情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア行

アイコン 41
キャプメモアイコン 41
ステータスアイコン 42
ステータスバー 42
タスクアイコン 41
通知アイコン 42
ナビゲーションバー 41
バックアイコン 41
ホームアイコン 41
アウトカメラ 27
アカウント 138
削除 138
手動同期 138
追加 138
アクセスポイント 105
初期化 105
追加 105
新しいAPN 105
アフターサービス 164
アプリ 122
アンインストール 123
データやキャッシュの削除 122
無効化 123
アプリ一覧画面 49
アプリケーション情報 52
アプリ無効化 52
アンインストール 52
検索 52
並べ替え 52
アプリケーションロック 131
アラーム 94
あわせるビュー 117
あわせるローテーション 117
暗号化設定 136
暗証番号 124, 127
あんしん遠隔サポート 163
位置情報 93
イヤホンランチャー設定 120
インカメラ 27
印刷 147
インストールするアプリのチェック 134
インテリカラー 116
うっかりタッチサポート 118
英語表示 137
エコモード 122
オリジナル 122
画面消灯時の動作制限アプリ指定 122
時間帯1／時間帯2 122
しっかり 122
充電中は起動しない 122
詳細設定 122
電池残量 122
やんわり 122
エラーメッセージ 162
エリアメール 62
削除 63
受信 62
設定 63
表示 63
お知らせLED 27, 41
おすすめアプリ 52

音・バイブ.....112
オプション・関連機器.....157
音声検索.....97
音声検索の設定.....137
音声入力.....37
音量.....112
音量キー.....28

カ行

外部機器接続
クラウドプリントでプリンタを接続.....147
その他の機器との接続.....152
パソコンとの接続.....147
プリンタとの接続.....147
DLNA対応機器との接続.....149
Wi-Fi対応プリンタとの接続.....148
外部ストレージ.....140
外部接続端子.....28
外部接続端子キャップ.....28
顔認証.....127
画像
表示／再生.....90
カメラ.....85
撮影時の注意事項.....85
静止画撮影.....86
静止画撮影画面.....86
静止画撮影時の設定.....88
動画撮影.....87
動画撮影画面.....86
動画撮影時の設定.....88
パノラマ撮影.....87
画面の明るさ.....115
明るさを自動調整.....115
スーパークリアモード.....115
画面のカスタマイズ.....46
画面の自動回転.....116
画面ロック.....127
解除.....128
自動ロック.....128
ロック.....128
画面ロックの音.....114
かんたんインターネット.....67
画面の操作.....67
詳細設定.....69
設定.....69
表示.....68
ブックマーク.....68
ホームページの設定.....69
文字の大きさ.....69
履歴.....69
キーボード.....35
外付けキーボード.....39
手書き入力.....36
テンキーキーボード.....35
QWERTYキーボード.....36
50音キーボード.....36
機内モード.....109
キャプメモ.....45
キャプメモボタンの表示.....116
ギャラリー.....90
緊急速報「エリアメール」.....62
言語.....137
検索.....97
検索設定
音声.....97
タブレット内検索.....97
プライバシーとアカウント.....97
国際ローミング.....154

サ行

最近使ったアプリの表示 131
材質 14
シアターモード 115
時刻 139
指紋センサー 27
指紋認証 127, 129
　登録／削除 130
　認証操作 131
充電 30
　充電用アダプタ 31
　卓上ホルダ 31
　注意事項 30
　パソコン 32
　ACアダプタ 32
充電端子 27
充電通知バイブ 114
仕様 172
商標 179
初期化 163
初期設定 40
スクリーンショット 35
スクリーンセーバー 115
スタイル設定 118
　キッズスタイル設定 119
　スタイル切替 118
　ファミリー利用設定 119
ステータスアイコン 42
ステータスバー 42
ステレオイヤホン端子 28
ストラップホール 28
ストレージ 121
スピーカー 27
スライド 34
スライドイン機能設定 116
スライドインランチャー 45
スリープ 115
スリープモード 44
スロットキャップ 28
スワイプ 34
静止画撮影 86
静止画表示 90
静止画補正 119
セキュリティ解除方法の設定 127
設定メニュー 101
ソフトウェア更新 166
　自動更新 167
　即時更新 168
　予約更新 169

タ行

ダウンロードファイル保存先 121
タスク管理 46
タッチ操作音 114
タッチパネル 27
　注意事項 33
　使いかた 33
タッチブロックモード 46
タッチ／スワイプ 127
タップ 34
ダブルタップ 34
タブレット情報 139
タブレットの暗号化 136
単語登録 137
知的財産権 178
地デジ持ち出し機能 84
チャンネル設定 83

長時間再生モード.....120
通信事業者.....155
通知アイコン.....42
通知音.....114
通知パネル.....43
　設定スイッチ.....43
通知LED.....114
提供元不明のアプリ.....134
定型文.....38
ディスプレイ.....27, 115
　画面の自動回転.....35
　表示が消えたら.....44
データ使用.....109
データローミング.....155
手書き入力.....36
テキスト編集.....39
テキスト読み上げの設定.....138
テザリング.....110
デフォルトのSMSアプリ.....109
テレビ.....78
　映像／音声／字幕の設定.....83
　起動.....78
　視聴画面.....79
　視聴予約.....80
　終了.....80
　設定.....82
　チャンネルリスト.....83
　テレビリンク.....80
　ブラウザの利用.....80
　フルセグ／ワンセグのご利用にあたって.....77
　放送波について.....77
　録画.....81
　録画の再生.....82
　録画予約.....80
テレビの設定.....82
　アラーム設定.....82
　オフタイマー設定.....82
　外部アンテナ利用.....83
　再生情報表示.....83
　長時間モード.....83
　データ放送設定.....82
　なめらかモード.....83
　バックグラウンド再生.....83
　文字スーパー設定.....82
　CAS情報の初期化.....83
　Webブラウザー設定.....83
テレビリンク.....80
テンキーキーボード.....35
　ケータイ入力.....37
　ジェスチャー入力.....37
　フリック入力.....37
　2タッチ入力.....37
電源キー.....28
電源を入れる／切る.....33
　入れる.....33
　切る.....33
電子辞書.....96
電卓.....96
電池
　確認.....121
　充電.....30
　寿命.....30
電話帳.....54
動画再生.....90
動画撮影.....87
動画補正.....119
時計.....94
ドコモのサービス／クラウド.....123

アプリケーション管理 123
遠隔初期化 123
オートGPS 123
オープンソースライセンス 124
端末エラー情報送信 123
データ量確認 123
ドコモアプリパスワード 123
ドコモ位置情報 123
ドコモクラウド 123
プロフィール設定 123
docomo ID設定 123
docomo Wi-Fiかんたん接続 123
ドコモバックアップ 98
データ保管BOXへ保存・復元 99
microSDカードへ保存・復元 98
ドコモメール 57
ドコモminiUIMカード 28
暗証番号 30, 125
取り付け 29
取り外し 29
ドコモminiUIMカードスロット 28
ドック 47
ドラッグ 34
トラブルシューティング 157
トルカ 72

ナ行

内部ストレージ 140
ナビゲーションバー 41
入力方法の切り替え 38
認証情報 134
ネットワークモード 155

ハ行

パケット接続 112
パスワード 127
パスワードマネージャー 131
パターン 127
はっきりタッチ 114
パノラマ撮影 87
パン 34
日付 139
ピンチ 34
ファイル操作 142
フォント 117
フォントサイズ 118
ブックマーク 65, 68
削除 66, 68
登録 65, 68
変更 68
編集 66
プライバシーモード 132
起動／解除 134
設定 132
ブラウザ 64
新しいブラウザウィンドウを開く 64
印刷 67
オフラインで読めるよう保存 65
画像を保存 66
画面の操作 64
高度な設定 67
シークレットタブ 65
辞書検索 66
設定 67
全般 67
帯域幅の管理 67

表示 64
ブックマーク 65
プライバシーとセキュリティ 67
保存したページ 65
ユーザー補助 67
履歴 65
リンクの操作 66
Labs 67
プリインアプリ一覧 49
フリック 34
ブルーライトカットモード 117
フルセグ 77
防水／防塵性能 21
ホーム画面 47
アプリ無効化 48
カスタマイズ 47
壁紙 48
きせかえ 48
削除 48
追加 48
フォルダを作成 47
ホーム画面一覧 48
ホーム画面から削除 48
マチキャラ表示設定 47
ホーム画面切替 46
保証 164
本体メモリ 140

マ行

マイク 27
マイク選択 114
マイプロフィール 56
マイマガジン 53
マナーモード 113
マルチメディア 119
無線とネットワーク 105
メール 57, 59, 62
メディアプレイヤー 91
音楽／動画の再生 91
ヘルプ 92
dマーケットからの購入 92
メモリ空き容量 121
文字入力 35
音声入力 37
キーボード 35
切り取り／コピー 39
設定 38
定型文の編集 38
貼り付け 39
ユーザー辞書の登録 38
持ってる間ON 115
モバキャス 72
視聴 74
シフトタイム 72
設定 76
番組／コンテンツの検索 74
番組／コンテンツの予約 75
リアルタイム 72
モバキャスの設定
お知らせ情報の通知 76
音声切替 76
再読込 76
視聴年齢制限 76
自動補完 76
自動予約 76
字幕表示切替 76
新着情報の通知 76
ストレージ選択 76

重複録画削除サポート 76
重複録画防止 76
データ放送表示 76
年齢設定 76
パスワード変更 76
バックグラウンド再生 76
番組表情報自動取得 76
放送中番組の表示 76
放送用保存領域消去 76
文字コード変換 76
文字スーパー 76
ログ送信 76
ロック画面通知 76
Cookie 76
Cookieを削除 76
Twitter連携解除 76

ヤ行

ユーザー補助 139
輸出管理規制 178
予定表 95
表示 95
予定の確認 95
予定の登録 95

ラ行

リセット 163
連絡先
インポート 56
エクスポート 56
グループ登録 55
グループの利用 55
削除 55
タイムライン 55
登録 54
編集 55
マイプロフィール 56
ロック解除時バイブ 114
ロック画面 44
ウィジェット 44
ロック画面壁紙 128
ロングタッチ 34

ワ行

ワンセグ 77

英数字・記号

Androidバージョンアップ 169
Androidビーム 146
APN 105
Bluetooth
名前を変更 145
ペアリング解除 145
Bluetooth Low Energy設定 145
Bluetoothアンテナ部 27
Bluetooth通信 143
機能ON／OFF 144
接続 144
接続解除 145
データ送受信 144
ペア設定 144
dマーケット 70
dメニュー 70
DiXiM Serverの設定 149
DLNA 149
デジタル録画番組を再生 151

配信 150
本端末で再生 151
DLNA対応機器で再生 150
docomo LIVE UX 47
Dolby Digital Plus設定 120
Eメール 59
アカウント設定 61
削除 60
作成 59
受信 60
設定 60
全員に返信 60
全般設定 60
送信 59
転送 60
バックアップ 61
表示 60
復元 61
返信 60
メールアカウントの設定 59
FAQ 157
FOMAアンテナ部 27
Gmail 62
表示 62
Google Play 70
Googleキーボード 137
Googleマップ 94
GPSアンテナ部 27
GPS機能 93
GPS／ナビ 92
HDMI 152
IP通話アプリの音質サポート 114
MHL 152
microSDカード 140
データ消去 121
取り付け／取り外し 141
パソコンから操作 147
フォーマット 121
microSDカードスロット 28
Miracast 153
NFC通信 146
NOTTV 72
NX!エコ 122
エコレベル 122
NX!inputとATOKの設定 38
PINコード 125
Playストア 70
アプリのインストール 71
アプリの削除 71
ヘルプ 72
QRコードリーダー 89
QWERTYキーボード 36
RGBセンサー 27
SDカード挿入時のメニュー表示 121
SDカードの暗号化 136
SDカードパスワード設定 135
SIMカードロック 126
SIMロック解除 183
SMS 57
削除 58
作成 57
受信 57
設定 58
送信 57
転送 58
表示 58
返信 58
spモード 106

TVアンテナ 28, 73
USBテザリング 111
USB同軸変換ケーブル F01 77
VPN 110
　接続 110
　切断 110
　追加 110
Wi-Fi 106
　かんたん接続 108
　詳細設定 108
　スキャン 107
　接続 106
　切断 107
　追加 107
Wi-Fi Direct 107
Wi-Fiアンテナ部 27
Wi-Fiかんたん接続 108
Wi-Fiテザリング 111
Wi-Fiテザリングかんたん接続 112
WORLD WING 154
Xiアンテナ部 27
50音キーボード 36

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから **dメニュー ⇒「お客様サポート」⇒「ドコモオンライン手続きの一覧をみる」（パケット通信料無料）**

パソコンから **My docomo（https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/）⇒ ドコモオンライン手続き一覧**

※spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き携帯端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナー→P113

着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（マナーモード）。
音の種類ごとに音量を設定できます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

Li-ion 00

’14.11（2 版）
CA92002-8418